

令和元年度第8回 教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 令和元年7月26日（金） 9：30～17：45
- 2 場 所 総合教育センター7階会議室
- 3 出席者 <教育委員>
長田教育長 山本委員 梶木委員 伊東委員 福田委員 今井委員
<事務局>
住谷教育次長 志水総務部長 梶本教職員人事担当部長
山下総合教育センター所長
- 4 欠席者
- 5 傍聴者 14名
- 6 会議内容

（長田教育長）

それでは、ただ今より教育委員会会議を始めます。

議事に入る前に本日は多数傍聴にお越しいただいております。神戸市教育委員会傍聴規則第1条第2項では「傍聴できる人数は、10人以内とする。」と規定されておりますが、本日は教科書採択を予定しておりますので、本日に限り傍聴定員を30人としたいと思います。いかがでしょうか。

よろしいですか。

（「異議なし」の声あり）

（長田教育長）

傍聴者の方々には受付でお渡ししております「傍聴人の注意事項」の記載内容をいま一度御確認いただきますよう、よろしくお願いたします。

本日は、議案1件の予定です。

教第29号議案 令和2年度使用神戸市立小学校及び義務教育学校前期課程教科書の採択の件について

（長田教育長）

それでは、教第29号議案、令和2年度使用神戸市立小学校及び義務教育学校前期課程教科書の採択の件についてです。

本日は、4月15日の教育委員会会議で承認いただいた採択要領に基づき、採択について審議いたします。まず初めに、調査研究報告書についての報告をお願いします。

(浦川教科指導課長)

それでは、報告をさせていただきます。

初めに、右肩に①とある。調査研究報告書総括の7ページをご覧ください。教科書調査委員会は種目ごとに、校長、教員、事務局指導主事で構成されています。

5ページの採択事務日程をご覧ください。教科書調査委員会は、5月9日に第1回目を行い、以降第3回程度調査研究協議を行い、教育委員会事務局に調査研究結果を報告、それを基に教育委員会事務局が、この調査研究報告書を作成いたしました。本日、教科書採択を行い、9月には情報開示となり、調査研究資料等の公開となります。

8ページ、教科書展示会の実施状況報告をご覧ください。6月18日から14日間、総合教育センターと市内7カ所の図書館において、教科書の法定展示が行われました。今年度は、小、中、高等学校、特別支援学校の教科書を含め、326名の方に閲覧していただき、御意見は71件ありました。教科書展示会での教科書に関する意見書等につきましては、先日、お示しさせていただいたところでございます。

この①の総括の資料に続きまして、①の1から、①の13が、種目ごとの調査研究報告書となります。これらの報告書は、4月の教育委員会会議で決定いただきました、5つの観点からまとめたもので、先日、詳しく御説明する機会を設けさせていただいたところでございます。

本日は、時間に限りがございますので、特徴的なところを中心に、改めてお伝えするとともに、御質問等を頂戴したいと思います。資料②は、文部科学省が作成した、教科書目録です。教科書の大きさ、ページ等が示されておりますので、こちらも御参考にしていただけたらと思います。

ここまでのところで、何か御質問ございませんでしょうか。

では、審議に入っていただきたいと思います。それでは、各教科書の説明をお願いします。

(角担当係長)

それでは、国語科調査研究報告書の記載内容について報告いたします。

この調査研究報告書は、教科書調査委員会から提出された調査研究結果をもとに、教育委員会事務局がまとめたものです。

国語科の授業は、1年生は年間306時間、2年生は315時間、3・4年生は245時間、5・6年生は175時間、授業時数があります。

観点は、アからオの5観点です。調査研究の対象となる教科用図書は、東京書籍、学校図書、教育出版、光村図書の4社、6種、46点です。

では、調査結果について、御報告いたします。特にすぐれている点、特徴について述べてさせていただきます。他の評価については、資料の通りですのでご覧ください。

まず、東京書籍から報告します。報告書の3ページをおあげください。サイズは全て、B5判となります。

観点アについて説明します。アの167ページをおあげください。前の学年の漢字の問題を解きながら復習をする漢字の練習や、国語の文法事項を確実に習得するための、小単元が定期的に設けられており、定着を図る工夫がなされています。

観点イについて説明します。イの88ページをおあげください。日常生活で接する実用的な文章を複数読み比べ、書き手の目的や意図に応じた表現について考える単元が系統的に設定されており、複数の情報を関連づけて、理解や思考を深める工夫がなされています。

観点ウについて説明します。ウの9ページをおあげください。学年初めの4月に1年間の学習を見通し、学期の終わりに学習を振り返るページが位置づけられており、定期的に身につけた言葉の力を実感し、次へ生かす工夫がなされています。

9ページは1年間の見通し、続いて95ページは1学期の振り返り、195ページは2学期の振り返り、255ページは学年末の振り返り、次年度につながるページです。

観点エについて説明します。エの28ページをおあげください。2年生以上の「国語のノートの作り方」では、本時のめあてに沿って、何に着目して自分の考えを形成し、どのようにノートに書きとめていくかが分かりやすく示されており、言語活動の充実につながる工夫がなされています。

観点オについて説明します。オの79ページをおあげください。入門期の平仮名指導でつまずきやすい促音、詰まる音や、拗音、小さい「ゃ」とか「ょ」です。などの特殊音節の指導では、視覚化と動作化により音節の仕組みを理解させる方法が導入されており、読み書きにつまずきを抱えやすい児童を支援する配慮がなされています。

以上で、東京書籍の報告を終わります。

次に学校図書について、報告いたします。報告書の5ページをおあげください。サイズは、全学年B5判となります。

観点アについて説明します。アの12ページをおあげください。「見つめる・見つける」では、身の回りから語彙や出来事を書きためる方法が示されており、年間を通じて継続して言葉を集めたり活用したりすることを促す工夫がなされています。

観点イについて説明します。イの10ページをおあげください。4年生以上には、複数の文章を比べて読む説明文の単元が位置づけられており、複数の文章の特徴をとらえ、筆者の述べ方を吟味・評価しながら多面的に考えることで、考えの形成につながる工夫がなされています。

観点ウについて説明します。ウの76ページをおあげください。2年生以上では、文学教材の中に対話読み教材が系統的に位置づけられており、自らの「問い」を探求することで、対話と読みを深める工夫がなされています。

観点エについて説明します。エの78ページと6ページをおあげください。3年生以上では、1学年に論理的思考力教材と感性的思考力教材が1つずつ設けられており、情報の関

係性を見出すことで、言葉への見方、考え方を広げる工夫がなされています。

観点オについて説明します。どの学年でも結構ですので、1冊教科書をお取りください。学年の基本色が設定され、表紙や見出しの記号、枠や吹き出しなどの色調が統一されており、学習に集中しやすい配慮がなされています。

以上で学校図書の報告を終わります。

次に教育出版について御報告いたします。報告書の7ページをおあげください。サイズは全学年B5判となります。

観点アについて説明します。アの132ページと158ページをおあげください。巻末の「言葉の木」では、発達段階に沿った習得させたい語彙が語句のまとまりを踏まえて、「言葉のまとめ」では、教材文で扱われている言葉や文型が使い方とともに示されており、語彙を豊かにする工夫がなされています。

観点イについて説明します。イの21ページをおあげください。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の複数領域にまたがる教材が、共通テーマのもと、一つの単元として設定されており、思考に即して学習が展開する工夫がなされています。

観点ウについて説明します。ウの4ページをおあげください。各学年、1年生の上は除きますが、巻頭には「何年生で学ぶこと」が設けられており、すごろく風に描かれた学びの地図を見渡すことで、一年間の学びや身につけたい国語の力を見通す工夫がなされています。

観点エについて説明します。エの65ページをおあげください。「書くこと」の単元では、言語活動の具体的な成果物が示されており、見通しをもって主体的に学ぶ工夫がなされています。

観点オについて説明します。オの98ページをおあげください。「読むこと」教材の手引きでは、学習過程に対応した内容が上段の枠内に示され、下段の対話例と区別して読むことができるようになっており、分かりやすい工夫がなされています。

以上で教育出版の報告を終わります。

最後に光村図書について報告します。報告書の9ページをおあげください。サイズは全学年B5判となります。

観点アについて説明します。アの60ページと98ページをおあげください。「カンジーはかせの都道府県の旅」は、1(東日本)と2(西日本)の2回にわけて、例文を参考にしながら都道府県にまつわる文をつくる構成となっており、無理なく、都道府県の漢字を習得できる工夫がなされています。

観点イについて説明します。イの48ページをおあげください。3年生以上の1学期の説明文教材には、短い教材で身につけた読む力を生かして、長い説明文を読む単元が設定されており、系統的に文章構成を学ぶ工夫がなされています。

観点ウについて説明します。ウの31ページをおあげください。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の全ての単元で、学習のまとめとして「知識・技能」「思考力、

判断力、表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点での振り返りが位置づけられており、自分の学びを実感する工夫がなされています。

観点エについて説明します。エの9ページをおあげください。「情報の扱い方」に特化した「情報」教材が「考えるときに使おう」「関係をとらえよう」「集めるときに使おう」「調べるときに使おう」の4系統で整理されており、情報活用の仕方だけではなく、文章理解や自分の考えの表現を伴った場面で、情報を扱う力を習得・活用する工夫がなされています。4系統は、例えば、9ページの「考えるときに使おう」、続いて59ページの「関係を捉えよう」、86ページの「集めるときに使おう」、52ページの「調べるときに使おう」といった教材です。

観点オについて説明します。オの54ページをおあげください。「読むこと」単元の「学習」のページでは、単元目標、学習過程に沿った課題とその課題に取り組むためのポイントやヒント、振り返りが見開き2ページで示されており、単元の学習の全体像がつかみやすい工夫がなされています。

以上で光村図書の報告を終わります。

これで、国語科調査研究の報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、委員の皆様より、御意見を頂戴したいと思います。

(梶木委員)

よろしいですか。

(長田教育長)

どうぞ。

(梶木委員)

2点、申したいのですけれども。観点なんですけれども、ウの学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫というところで、御説明をいただいたときに、どちらかというところ、学びに向かう力の説明が多かったかなと思うのですけれども。人間性等の涵養するための工夫ということで、例えば、東京書籍だったら、どんなところにそういうのがあるのかなとか、教育出版だったら、どういったところにあるのかなというところを、教えていただけたらなというのが1点。

それから、新しく入ったと言われています、都道府県の漢字を学ぶというところで、先ほど、「カンジーはかせ」ですか、いい例を教えてくださいましたけれども、他の教科書には、どのように学んでいくのかというので、教えていただけたらというふうに。

(角担当係長)

1つ目については、教材の力というか、教材の内容というところにも、とても関係があることだと思うのです。ですけれども、今回、私たちが調査研究を進める時に、もちろん教材の力ということは、国語の力をつける上で、もちろん重要な要素であり、各社とても充実した教材をもってこられているのは分かっているのですが、神戸の課題として、どうしても教材の内容を教えるというようなところが、まだまだ抜けきれない課題は大きいので、今回はやはり、このウの観点については、見通しや振り返りというあたりとか、それから、粘り強く学習を進めていく上で、どのような工夫がされているのかということに重きを置いて研究をしたので、ちょっと明確なお答えができなくて、申し訳ありません。はい、そういった観点で調査しました。

それから、都道府県の漢字のことなんですが、東京書籍の都道府県のところだと、どの学年も4年生ですので、東京書籍は108ページです、4年生の下です。学校図書は、62ページにあります、4年生の下です。そして、教育出版は、上の104ページ、105ページにあります。

簡単に特徴を説明します。例えば、東京書籍の場合でしたら、1ページにおさめられているのですが、やはり、ここでは4年生で都道府県の漢字を全て学ぶということなので、新しく学習する漢字が大きく表示されているので、そこは目立つように示されていて、子供たちが無理なく学べるような工夫がなされていると思います。

そして、学校図書は62ページ、63ページですが、漢字で学ぶというところですが、短歌というものを合わせて、出てきています。それぞれの県にまつわる短歌、そういうふうには、ここは学ぶようになっていきますので、非常に情緒的な感じがします。豊かな言葉に触れるというような工夫があります。

そして、教育出版は104ページ105ページにあります。ここも、都道府県の漢字を、大きく四角で囲まれているような工夫がありまして、注目しやすいような工夫があります、さらに、都道府県も使って文をつくるというあたりは、先ほどとよく似ていますが、やはり、文をつくる中で、漢字を習得するさせていくというふうな工夫があります。

光村図書については、先ほど触れさせていただいた通りです。

(梶木委員)

ありがとうございました。

(長田教育長)

他に、ございませんか。

(山本委員)

3年生の「モチモチの木」だとか、4年生の「ごんぎつね」、5年生の「大造じいさん

とガン」など、同じ物語教材を複数の社が使っておられますけれども、この扱い方に違いがあるのかどうかということ一つ。

2点目は、国語は週当たりの授業時数が一番多い教科なので、それだけに、授業経験、また経験が浅い教員としての扱い易さ、このあたりは、どのような工夫がされているのかというあたり。

3点目なんですけれども、どの教科もQRコードを掲載して、ウェブサイトと連動させていますけれども、その内容等については違いがあるのか、そのあたりはどうか、その3点をお願いしたいと思います。

(角担当係長)

それでは、物語教材についてですが、それというのは幾つかありますが、4年生の「ごんぎつね」の例に挙げて、説明したいと思います。

東京書籍ですと31ページから、下です。それから、学校図書は42ページです。そして、教育出版は、下の6ページ。光村図書は、下の12ページにあります。どこの会社にも、「ごんぎつね」の教材がございます。

どこが違うかということ、まず単元でつきたい力が各社で違います。それから、言語活動も各社で違うのです。ですから、言語活動の進め方とか、教材を読む時の視点とか、そういったものが会社によって違うということです。手引きのところに、今、申し上げたことが書かれているのですが、教材文の終わったところに、このように読んでいきましょうというようなページが各社あるわけですが。

東京書籍だと、かなり焦点を絞った問いが、まず出てきます。その問いを使って、子供たちは、学習を進めるという勉強になっています。

それと、先ほどの東京書籍のところだと、すみません、行ったり来たりで、単元の初めに、先ほど言いました、問いにつながる、初めのはっきりと単元目標、つきたい力、言語活動が分かるようなページがあって、教材文があって。こういう導入のページがしっかりと1ページあって、そして教材文があって、先ほどの導入のページに対応した、読んでいく時の手引きのページというところが、3ページあります。

学校図書は、導入のページはないのですが、初めのところに単元名、そこにつきたい力が分かるようなものがついていまして、教材文のあとには、見開き2ページで、学習の進め方が示されています。

教育出版の方も、このように導入の初めのページがありまして、教材文。そして見開き2ページの学習の進め方のページがあります。下には、子供たちの対話例みたいなものが載っています。

そして、光村図書の方も、最初の導入のページ、前単元とのつながりみたいなものが示されていて、そして教材文、先ほども申し上げましたように、見開き2ページの学習の手引きというような構成になっています。

それから、経験の少ない、若手の先生方にどうかという点なのですが、今、お示ししましたように、若手の先生方は、国語のつきたい力が何なのかというところが、やはりつかみにくいというようなことがあります。ですから、教科書にこの単元では、こういう言葉の力をつけるのだよというようなことが、はっきりと明記されていること。言語活動もこれが、言語活動だと分かりやすい、そういうものが明確に示されているものが、いいと思います。

さらに、学習過程というものが明確である、それも大事なことだと思います。言語活動の手順が子供にとっても分かりやすく示されていること、それも若手にとっては、大事なことだと思います。

最後に、年間の学びを見通すというようなことも大事なことだと思いますし、定期的に学びを振り返るようなところが位置づけられるということも、意識できていいかなと思います。こういった点が、若手の先生が苦手なんです。

それから、QRコードについては、会社によって違いますが、ウェブサイトへ飛んでいくような、リンクできるようなQRコードですとか、あるいは、言語活動のモデルが動画で出てくるような、そういうリンクの仕方がありました。

以上です。

(山本委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

よろしいですか。他にございませんでしょうか。特に、ないようでしたら、これから投票に入りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

はい、それでは、投票を行います。

投票の結果、過半数の4票を得票した教科書があった場合は、その教科書を採択いたします。3票ずつ同数の場合は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第4項の規定に基づき教育長の決するところとします。その他の場合で、過半数を得票した教科書がなかった場合は、得票のあった教科書について再度協議させていただきたいと思います。

それでは、投票用紙をお渡ししますので、最適と思われる教科書会社名に○をおつけ下さい。指導主事が回収に回ります。

(教育長、委員が投票、指導主事が投票用紙を回収し集計、集計結果を教育長にお渡しする)

(長田教育長)

光村図書 6 票、過半数を超えておりますので、光村図書社の教科書を採択することといたします。

教科書の入れかえを行いますので、しばらくお待ちください。

(長田教育長)

それでは、次の種目の説明をお願いします。

(前田担当係長)

書写の調査内容について、御報告いたします。

まず、概要についてお話しします。書写の授業は、国語科の知識、技能の内容項目に位置づけられ、毛筆による書写の指導は 3 年生以上の各学年で行い、各学年で年間 30 単位時間程度、配当するとなっております。各教科書が、年間 30 から 35 時間の授業時間を想定して作られています。

調査研究の対象となる教科用図書は、東京書籍、学校図書、教育出版、光村図書、日本文教出版の 5 社、6 種、30 点です。

まず、東京書籍から報告します。3 ページをおあげください。サイズが A B 判です。

観点アについて説明します。1 年 30 ページをおあげください。筆順に応じて色分けされているので、判別しやすく、文字の組み立て、筆順、運筆、接筆が分かりやすく、低学年でも接筆が理解しやすい工夫がなされています。色の重なりどころが分かりやすいです。

観点イについて説明します。3 年 15 ページをおあげください。文字を整えて書くための原理・原則が書写のかぎとして各単元の左端に、縦に帯状に示されており、問題解決が学習の構成が工夫されています。

観点ウについて説明します。6 年 24 ページをおあげください。「発表のためのポスターをかこう」では、「書写のかぎ」の生かし方や総合的な学習でのポスター作成やリーフレットづくりなどが例示されており、書写の学びを生かせる工夫がなされています。

観点エについて説明します。2 年 30 ページをおあげください。各学年に掲載されている「文字のいずみ」には、漢字や仮名の成り立ち、世界の文字、文字にこめた思いなどが示され、興味・関心を持つ工夫がなされています。

観点オについて説明します。2 年 7 ページをおあげください。1 年生と 2 年生では、左ききの児童に対して、鉛筆の持ち方が写真で示されており、書きやすい鉛筆の持ち方が分かる工夫がなされています。

以上で東京書籍の報告を終わります。

次に学校図書について報告します。5 ページをおあげください。サイズは、全学年 B 5 判となります。

観点アについて説明します。1 年 35 ページをおあげください。書き込み欄が多く、教材文字と、自分の文字を教科書内ですぐに確かめながら書けるようにされており、確実に技

能を取得できる、定着につながる工夫がなされています。

観点イについて説明します。3年24ページをおあげください。24、25、26ページの学習の進め方が、「確かめて書こう」「考えて書こう」「生かして書こう」と発展的に構成されており、「生かして書こう」では、学習したことを普段の生活の中で活用できる工夫がなされています。

観点ウについて説明します。5年38ページをおあげください。書写の資料館では、4年、5年、6年に都道府県名を書く欄があるなど、その他メモのとり方、はがき・手紙の書き方など、他の教科にいかせる内容がまとめてあり、使いやすくする工夫がなされています。

観点エについて説明します。3年11ページをおあげください。書写の不思議コーナーでは、発達段階に即して「鉛筆・消しゴムの製造法」「筆、墨の製造法」「すずり・和紙の製造法」「文字の成り立ち・歴史」等が掲載されており、興味・関心を持つ工夫がなされています。

観点オについて説明します。3年21ページをおあげください。二文字以上の毛筆教材は、全て半紙と同じ大きさで掲載されており、そのまま手本にできる工夫がなされています。

以上で学校図書の報告を終わります。

次に、教育出版について報告をします。7ページをおあげください。サイズは、B5判となります。

観点アについて説明します。4年12ページをおあげください。3年生以上では、共通の図版を用いた点画の種類が示され、学習したことを振り返り、確実に定着できる工夫がなされています。硬筆の例は、四角の中の漢字ですが、それが学年によって異なり、学習しやすくなっています。

観点イについてご説明します。4年17ページをおあげください。各学年に、振り返りを伝え合う様子を示した写真が掲載されており、吹き出しの言葉を使って、対話的な学びができる工夫がなされています。授業のイメージが持ちやすいです。

観点ウについて説明します。5年30ページをおあげください。「レッツトライ」では、発達段階に即して、4ページにわたって、写真や図表を用いて分かりやすく示されており、他の教科で、書写の学びを生かした学習ができる工夫がなされています。

観点エについて説明します。3年46ページをおあげください。各学年の「知りたい文字の世界」では、生活の中で見られる文字の姿など、発達段階に即して興味・関心を持つ工夫がなされています。ここでは、手書き文字と活字の違いに触れています。

観点オについて説明します。6年29ページをおあげください。色彩が鮮やかで、絵や写真が効果的に使用されており、分かりやすい工夫がなされています。

以上で、教育出版の報告を終わります。

続いて、光村図書について報告をします。9ページをおあげください。サイズは、B5判となります。

観点アについて説明します。3年24ページをおあげください。「漢字の筆つかい」では、

はねの説明について、難しい筆つかいが丁寧に示されており、分かりやすい工夫がなされています。このはねは、難しいのですが、一度とめて、穂のはらをゆっくり、矢印の向きに動かすという説明は、とても分かりやすいです。

観点イについて説明します。4年20ページをおあげください。「ノートの達人になろう」では21ページに、2つのポイントが明確に示されており、文字を整えて書くことができる工夫がなされています。

観点ウについて説明します。6年19ページをおあげください。「書写ブック」の内容が、ページをめくっていただくと、これまでに学習をしたことが具体的に示されており、学んだことを日常に生かせる工夫がなされています。

観点エについて説明します。5年13ページをおあげください。各学年の「もっと知りたい」では、学年に応じて、漢字のいろいろな書き方などに触れ、分かりやすく説明されており、児童が興味・関心をもって学習する工夫がなされています。

観点オについて説明します。5年16ページをおあげください。レイアウトがすっきりしており、大切なことが一目でわかる工夫がなされています。

以上で光村図書の報告を終わります。

最後に、日本文教出版について報告します。11ページをおあげください。サイズは、B5判となります。

観点アについて説明します。3年6ページをおあげください。巻頭には、発達段階に即して、書く姿勢や筆記用具の使い方、紙のしまい方、紙の再利用等が写真やイラストで示されており、系統的に定着させる工夫がなされています。

観点イについて説明します。4年14ページをおあげください。各単元の「考える」の段階で、自分で調べたり、考えて見つけ出したりする課題提示の仕方になっており、例えば、ここでは、そこを直せば概形が整うかという課題です。思考力を高める工夫がなされています。

観点ウについて説明します。5年28ページをおあげください。「言葉の窓」これは、語彙を預かった教材ですが、「言葉をふやして、表現力を高めよう」では、内容が興味深くなっており、関心を高める工夫がなされています。部位指導の充実と書写とを関連性が工夫が見られます。

観点エについて説明します。6年16ページをおあげください。「平仮名と片仮名ができるまで」では、漢字の始まりである「甲骨文字」から分かりやすく紹介されており、漢字の誕生に興味を持つ工夫がなされています。

観点オについて説明します。3年16ページをおあげください。色彩がすっきりしており、見やすく、運筆がよく分かる工夫がなされています。

以上で日本文教出版の報告を終わります。

以上で書写の調査研究の報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、御意見、御質問ございませんでしょうか。よろしいですか。

(伊東委員)

東京書籍さんのところでは、左ききの写真のことが出ていたのですが、それ以外のところで、左ききに関して、掲載されているところはありませんでしょうか。

(前田担当係長)

はい、どの教科書会社さんも、そのあたりについて、大変丁寧に説明をされております。どの教科書も最初の部分に、例えば、鉛筆の持ち方だとか、筆の持ち方などが示されていますが、大変丁寧にあると思います。

ただ、東京書籍は、左手でもつ、写真が掲載されているというところが、少し特徴的だなというふうに思っただけでございました。

(伊東委員)

他の4社さんも、左手は。

(前田担当係長)

扱ってはいます。

(伊東委員)

それを、教えていただいたらよろしいですか。どのページか。

(前田担当係長)

具体的に。例えば、日本文教出版さんでしたら、1年生の5ページですね。学校図書さんは、1年生の4ページにあります。

それから、左ききの子供たちが、文章を書く時に、自分の手で隠れたりするというようなことがあるので、上に手本の文字があって、下に、硬筆だったら書くよというような工夫もされています。これは、学校図書さんで、教育出版さんは、1年生の4ページにあります。

(伊東委員)

すみません、ちょっと私の質問が悪かったかもしれませんが、左ききの人が持っている写真とか、図はありますかというのを。

(前田担当係長)

写真とかは、やっぱり。

(長田教育長)

できたら、具体的に、この東京書籍さんのように、左手の人の写真とか具体的な、どこの教科書でも、何ページということを紹介してほしいと思います。

(前田担当係長)

写真とかは、やっぱり、東京書籍だけですね。

(伊東委員)

はい、ありがとうございます。

(長田教育長)

鉛筆の持ち方、そのものは、どこの教科書さんにもある。

他に、ございませんか。

(今井委員)

1年生とか、後ろに、水かきシートみたいなのがついている。

例えば、日本文教出版さんとか。

他も、同じようなのがついているところがあったかと思うのです。使いやすさとかで、何か、比較検討されたというのがあったら、教えていただけないでしょうか。

(前田担当係長)

その、水書用筆というのを、使って練習をするというようなことが、今度の新しい学習指導要領に出ているということです。

よさとしたら、手の指の動きを体感しやすくなって、筆圧をかけなくても、線が書けるので、指に力が入って、鉛筆を握りこむという、そういった悪い持ち方を改善するのによいということで、1、2年で使いましょうということ。低学年で使いましょうということになっているようです。

それで、東京書籍さんが1、2年の教科書について、大きいのがついております。あと、日本文教出版さんも、1、2年についています。そして、光村さんの方は、1年生だけ。それから、教育出版さんの方も、1年生についているという、そういうような感じです。

大きさは、東京書籍と日本文教出版さんが大きいので、使い勝手としてはいいのかなというふうに思います。

(梶木委員)

今の水書のことなんですけれども、これまでも、教科書にはついてなくても、学習の中でやっておられる学校は、結構あるのですか。

(前田担当係長)

子供たちが、この筆をもってするという事は、ほとんどなかったと思います。

(梶木委員)

実際には、これは、水でびしゃっとなって。すぐに乾くのですか。扱い勝手的なものも。しよっちゅう、使うものになるのですか。

(前田担当係長)

しよっちゅう使うかどうかは、あれなんですけれども。その水の筆で書くと、後ですぐ消えるというような。よく、教師用で、こういう水書黒板というのがあって、教員は、よくそれを書写の授業で、使ったりするのですけれども。本当に、黒板に水をつけた筆で書くと、すごくよく分かるし。あと、すぐ消えるので、また、すぐ使えるというよさがあるので。あれが今度、子供版でも、使うようになったのかなというように考えています。

子供たちにとっては、水で書くので、手が汚れないとか、あと、繰り返しできるとか。鉛筆の持ち方がよくなるという、そのあたりは、伺っています。

(長田教育長)

他に、ございませんでしょうか。特に、ないようでしたら、これから投票を行いと思いますが、よろしいでしょうか。

(教育長、委員が投票、指導主事が投票用紙を回収し集計、集計結果を教育長にお渡しする)

(長田教育長)

東京書籍さん1票、日本文教出版さん5票。よって、過半数を超えておりますので、日本文教出版社さんの教科書を採択することにいたします。

教科書の入れかえを行いますので、しばらくお待ちください。

(長田教育長)

よろしいでしょうか、それでは、種目の説明をお願いします。

(竹中指導主事)

では、社会科の記載内容について報告いたします。

社会科の授業は、3年生70時間、4年生90時間、5年生100時間、6年生105時間です。調査研究の対象は、東京書籍、教育出版、日本文教出版の3社、14点。サイズは全て、A B判です。

まず、東京書籍から報告します。調査報告書の3ページをおあけください。

観点アについて説明します。5年上、15ページをおあけください。続きまして、93ページをおあけください。2つのページにある、「まとめる」学習活動では、表や関係図への整理やかるたづくりなど、発達段階に合わせた多様な活動が示されており、習得した知識が定着する工夫がなされています。

観点イについて説明します。4年生、41ページをおあけください。資料や関連した文章の近くでドラえもんが「社会的な見方・考え方」に基づいた問いを示しており、考えを深める工夫がなされています。

観点ウについて説明します。6年生政治国際編の26ページをおあけください。「選挙の仕組みと税金の働き」の学習や架空の政党の主張をもとに投票について考える活動が示されており、主権者意識を高める工夫がなされています。

観点エについて説明します。6年生歴史編の77ページをおあけください。「まなび方コーナー」では、調査活動や表現活動の手がかりが内容に合わせて示されており、自力で学習を進められる工夫がなされています。

観点オについて説明します。3年生の表紙裏をおあけください。目次が表紙の裏にあり、選択単元の表示が明確であり、文と写真では、背景の色調が変えられており、分かりやすい配慮がなされています。

以上で東京書籍の報告を終わります。

続いて、教育出版について報告します。調査報告書の5ページをおあけください。

観点アの説明をします。3年生の124ページをおあけください。単元最後の「まとめる」では、単元のはじめにつくった学習問題や「キーワード」が再掲されており、学習内容を振り返り定着させる工夫がなされています。

観点イです。4年生の29ページをおあけください。中学年では、校区探検やごみ調べなど具体的な体験を伴う学習が示されており、関心や意欲を高め、実感を伴った学習ができる工夫がなされています。

観点ウです。6年生の46ページをおあけください。「わたしたちの暮らしを支える政治」では、発展的な内容として、政治への参加が取り上げられており、主権者意識を高める工夫がなされています。

観点エです。表紙の裏をご覧ください。関連するウェブサイト等につながる二次元コードが示されており、興味・関心に合わせた情報収集ができる工夫がなされています。

観点オです。5年生の77ページをおあけください。「UDデジタル教科書体」が使用されており、読みやすい配慮がなされています。

以上で、教育出版の報告を終わります。

最後に、日本文教出版の報告をいたします。調査研究報告書の7ページをおあげください。

観点アです。5年生の140ページをおあげください。確実に資料を読み取るための方法が繰り返し提示されており、資料から気づきを浮かべやすい工夫がなされています。

観点イです。5年生の264、265ページをおあげください。単元を通して、子供の問題意識がつながり、深まる単元構成となっており、主体的な学びにつながる工夫がなされています。

観点ウです。4年生の88ページをおあげください。兵庫県や神戸市の事例が数多く取り上げられており、興味・関心をもつ工夫がなされています。

観点エです。6年生の100ページをおあげください。本文が、学習進行、子供たちの気づき、説明資料に区別されて掲載されており、どこに何が書かれているか分かりやすい工夫がなされています。

観点オです。5年生の120ページをおあげください。グラフや地図では色だけでなく地紋や斜線などが使用されており、色覚に特性がある児童も見やすい工夫がなされています。

以上で、日本文教出版社の報告を終わります。

以上で、社会科の調査研究報告を終わります。

(長田教育長)

はい、それでは、御意見、御質問ございませんでしょうか。

私から、1つよろしいですか。

主権者教育の観点ですけれども、東京書籍さんと教育出版さんの紹介は、さっきありましたが。日本文教出版さんは、その主権者教育について、どういった記述がされていますか。

(竹中指導主事)

特に選挙に関することで、特設された授業というのはございません。ただ、小学校段階での主権者教育とは、主に6年生の政治単元で取り上げられます。

学習指導要領では、日本国憲法で定められた、国民としての権利及び義務について、国民生活の安定と向上を図るために、政治が大切な働きをしているという観点から、具体的な事例を取り上げるなどする。例えば、参政権を取り上げ、選挙に参加する権利が国民は保障されていることを、理解できるようにする必要があると記載されています。

小学生は初めて、政治について学習する段階ですので、要約すると、安定した国民生活を送るために、政治が大切な働きをしているということを理解する。自分たちも、選挙などによって、政治に関わる大切な権利があるということを、しっかり理解するということが一番の主権者教育ではないかと思います。

それを考えた時に、特設したページはないのですけれども、単元を通じて、政治につい

てしっかり考えを深める構成になっているという意味では、単元を通した、主権者意識の高まりということになるかと思います。

(長田教育長)

例えば、6年生で、6ページぐらいから、我が国の政治の働き、憲法と政治の仕組み、12ページに国民主権と、このあたり。この次のページでいくと、14、15ページの国民基本的人権とか。いわば、そういったところでということですよ。

(竹中指導主事)

はい。

(長田教育長)

では、ないのでしょうか。

(竹中指導主事)

そうですね。それこそが、まさに主権者教育です。

(長田教育長)

そういうことですね。

(竹中指導主事)

12ページの国民主権も選挙とつなげて、記述がされているなど。学習内容そのものに、主権者教育、主権者意識に結びつく記述がされています。

(長田教育長)

よろしいでしょうか。他ございませんでしょうか。

(梶木委員)

今と同じような関連で、ちょっと違うかもしれないのですけれども、子供の権利条約というのは、社会では取り上げないのですか。どこか他でも、取り上げているのですか。

(竹中指導主事)

子供の権利条約そのもの学習というのは、扱う対象としてはないのですけれども。やはり、主権者であるとか、人権であるとかという意味では、基本的人権とかという形で、政治のこの学習の中で、取り上げられたりしています。

(梶木委員)

日本文教出版の教科書の中には、兵庫県神戸市の事例が、数多く取り上げられておりというところで、非常に震災の取り扱い方とかいうのが、各教科書によって違うのかなと思うのですけれども。

例えば、今も神戸市でも、若い先生が多くなってきて、阪神淡路大震災後に生まれているような先生も多いのですけれども、こういう兵庫県、神戸市の事例が多く取り上げられていることで、若い先生たちとかは、何か教えやすいのでしょうか、それとも、そこで学んでいくのでしょうか、どういうイメージをするのか。逆に、東日本大震災の方が、生まれているというところもあるのかなと思うのですけれども、そのあたりは、どういう取り扱いでされるのか。

(竹中指導主事)

教えやすいかどうかというよりも、まずは、子供たちが身近な社会的な事例というのを通して、気づけるという意味で、子供たちがそこから学べるものが多いというのが、一つあると思います。

阪神淡路大震災については、この社会科の中で学ぶ、特に、これが取り上げられているのは、4年生の単元ということもありますので、「わたしたちの神戸」で、まだ学習している学年でもあります。

また、「しあわせはこぼろ」の副読本があるので、神戸市の場合は、1年生からずっと阪神淡路大震災についても、東日本大震災についても、積み上げて学んできているという経過があるかと思います。

(梶木委員)

あと、もう一ついいですか。

(竹中指導主事)

はい。

(梶木委員)

5ページのところで。

(竹中指導主事)

6年生の教科書で。

(梶木委員)

すみません、調査研究報告書の5ページの。二次元コードが示されているというところ

が、エのところの一番上にあつたのですけれども。

二次元コードもいった先に、多分、いろんな資料があると思うのですけれども、社会科を学んでいく時に、重要だと思うのですが。それは、各教科書会社によって、その違いがありますね。

(竹中指導主事)

特色はあります。東京書籍、日本文教出版、教育出版、全てあるのですけれども。二次元コードが示されているのは、東京書籍と教育出版です。

特に、教科書を使って、学習をするのが、5、6年生。3、4年生は、「わたしたちの神戸」が中心に使われていることが多いので、5、6年生を中心に考えていった方がいいかと思うのですが。

東京書籍さんは、基本的なことが、各学年にわたって何回も出てきている。大事なその地図の読み取りであるとかというのが特色です。

教育出版さんは、5、6年生においては、関連のサイト、他の省庁であるとか、市役所であるとか、要するにリンクするページがたくさん設けられています。

日本文教出版は、二次元コードがないというのは、教師が授業の中で紹介する資料に使いやすい資料は、たくさん設けているというのが特徴です。

二次元コードを、ぴっとしたら、関連サイトにはつながるのですけれども、タブレット等で、教室の中でインターネットにつながる環境が、神戸市ではありませんので。なかなか、授業の中で、関連サイトにつながりというのを活用するのは制限があるかなというのが、現在の実情です。

(長田教育長)

他にございませんでしょうか。

(山本委員)

授業時数が、3年生で70、6年生で100、週2時間から3時間程度の学習の内容で、結構、盛りだくさんな内容だと思うのですけれども。そのあたりの、取り扱いについては。各社含めて、取り扱いやすい工夫とか。そのあたりはいかがですか。

(竹中指導主事)

今回、学習指導要領が改訂されたのですけれども、軽重をつけた取り組みというのが文科省からも言われています。やはり、実感を伴った学習をするために体験的な学習を充実させたい。でも、時間数がということで、年間の授業時数というのが各会社からも示されております。

また、教科書とは少し違うのですが、神戸市の取り組みの中でも、「わたしたちの神

戸」の中で年間この時間になるように軽重をつけながら計画がされているので、かなり内容が濃いのですけれどももしっかり扱って、指導単元とも関連したり深めたりするところは意識しながら、たくさんの内容をきちんと充実されるような計画というのは1年間を通して見直しされていくところかと思います。

(山本委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

他にございませんか。特にないようでしたら投票に入りたいと思いますが、よろしいですか。

それでは、これから投票を行います。

(投票)

(長田教育長)

日本文教出版社さん、6票。よって、過半数を超えておりますので、日本文教出版社さんの教科書を採択することといたします。

それでは、次の種目の説明をお願いします。

(竹中指導主事)

続きまして、地図の記載内容について報告いたします。

まず、概要についてお話しします。

地図帳は、今回の改訂より、グローバル化に対応するために3年生から入るとなっています。先ほど申し上げた社会科の学習時間はもちろん、他教科等においても使用する教科用図書です。

調査研究の対象は、東京書籍、帝国書院の2社、2点です。サイズは、いずれもA4判です。

まず、東京書籍から報告します。

調査報告書の3ページをおあげください。

観点アについて、説明します。15ページをおあげください。

日本とその周りや、その次のページの沖縄島などには、関連写真に詳しい解説が掲載されており、調査活動がしやすい工夫がされています。

観点イについて説明します。75ページをおあげください。

日本の歴史、世界との関わりでは、過去の世界地図が掲載されており、同時代の世界の様子を意識する工夫がなされています。

観点ウについて説明します。97ページをおあげください。

日本の自然災害や地勢図と写真を使って3ページで掲載されており、地形や気候、災害を関連づけて考える工夫がなされています。

観点エについて説明します。55ページをおあげください。

世界全図と地球儀のページでは、写真で分かりやすく地球儀の見方の解説がされており、地球儀の使い方を自ら学ぶ工夫がなされています。

観点オについて説明します。85ページ、86ページをおあげください。

85ページ下にありますが、航路やオリンピックなどは、色だけでなく異なる線種や記号で記載されており、色のみによる判別を避ける工夫がなされています。

以上で、東京書籍の報告を終わります。

続いて、帝国書院について報告します。

調査報告書の5ページをおあげください。

観点アの説明をします。29ページをおあげください。

日本の領土とその周りでは、日本の東西南北端、排他的経済水域、近隣諸国が行政図で示されており、日本の範囲や周りの国々の様子に気づきやすい工夫がなされています。

観点イの説明をします。47ページ、48ページをおあげください。

新設された20万分の1の拡大図の京阪神には、奥平野浄水場や淀川の取水場、灘の酒蔵など学習に関連のある記載があり、身近な地域に興味をもって学習できる工夫がなされています。

観点ウです。91ページ、92ページをおあげください。

日本で起きた主な自然災害、そして、次のページには防災マップの作成の手順などが示されており、震災を風化させず防災意識を高める工夫がなされています。

観点エです。57ページ、58ページをおあげください。

土地の高さによる色分けと土地利用による色分けが併用されており、人々の暮らしの様子を読み取りやすい工夫がなされています。

観点オです。59ページをおあげください。

日本地図には、田畑や果樹園などの着色だけでなく地図記号も併記されており、色覚に特性のある児童も読み取りやすい配慮がなされています。

以上で、帝国書院の報告を終わります。

以上で、地図帳の調査報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、御意見、御質問ございませんか。

(梶木委員)

よろしいでしょうか。地図帳というのは、何となくイメージ的には社会で一番使うのか

など思うのですけれども。どういう位置づけで、よく学校で使われるのか教えていただきたいと思います。

(竹中指導主事)

地図帳は、社会的な事象を直接見たり考えたりするためにとっても大切な、有効な教材です。地名の位置を確認するだけではなくて、社会事象の様子とか、自然環境の関わりであるとか、位置関係であるとか、様々なことを調べることができます。

日常的に社会科の学習で出てきた場所を確かめる、印を入れるということで、何年生で学習したのはこの近くだなという位置関係を確かめたり、また、社会科の授業だけではなく、日常的に活用して、ニュースで出てきた地名を調べましょうとか、そういう形で活用して地図への親しみをもたせ、問題解決のための教材として様々な場面で活用するための位置づけになっています。

(梶木委員)

神戸市では、学校の中でインターネットに接続がまだまだできないということなのですが、子供たちが自分では。そういう時に、地図帳に資料というか、いろいろな情報が載っているのは重要だと思うのですね。そういう時に、地図そのものだけではなくていろいろな産業だったりの特徴の統計的なものというのは、どういう扱いをされているのか。2社の違いを教えていただけたら。

(竹中指導主事)

後ろの方に統計のページや特集のページ等がございます。

例えば、統計としては、東京書籍は83ページ、84ページと。帝国書院は、103ページ、104ページに「日本の統計」という表があります。こういったものも読み取れるようにしていきたいということなのですが、違いとしては、載っている情報はほぼ似たような形になっています。

東京書籍は、見開きを丸ごと使っておりますので、割と行と行がゆったりしている特徴がございます。

帝国書院は、国土、農林水産業、工業、暮らしと環境などで色分けがされているので、言葉だけでなく、何色の列を見てごらんとか、言葉の指示でも探しやすい工夫がなされています。また、下に生産額、輸入先などのグラフも掲載されているので、上の表を視覚的に表した情報が下にあるというふうに、同じ情報でも載せ方が多少違ったりしているところがあります。

(梶木委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

他にございませんか。

(山本委員)

地図を読むのが苦手だとか、地図がしっかり読み取れないと、こういった子が増えてきているのではないかとということをよく聞きますけれども。そうならないように、また読む時にそういう子供たちのための指針になるようなそんな工夫は、この地図帳の中では。

(竹中指導主事)

地図帳の中でですか。やはり、視覚的に様々、東京書籍も帝国書院もなのですからけれども、地図帳の中に特産物であるとか、視覚的に捉えやすい工夫は各社がされています。

3年生から地図帳が配付される形なのですからけれども、特に、帝国書院などは最初に広く見渡す地図というページが19ページ、20ページから展開されています。ここには、特に子供たちが親しみをもちやすそうなイラストなど、大き目のイラストで掲載されているという工夫がされていて、3年生から地図に慣れ親しむという工夫がなされています。

東京書籍は、表紙裏の1ページ、2ページ、3ページの世界地図や、4ページの日本地図の中にイラストを活用した親しみやすい地図が掲載されています。

言葉を調べる辞書みたいに、地名等を調べるものとして活用できるのが地図帳の一番の狙いと思います。

(山本委員)

ありがとうございます。

(今井委員)

済みません。今のお話とも関連するのですけれども、写真をうまく配置することで、さらに視覚に訴えて、より子供たちにイメージを持たせるという効果もあると思うのですけれども、写真の使い方とかで何か特徴的なところがあれば教えていただけますか。

(竹中指導主事)

例えば、子供たちがほぼ行ったことない、触れにくい、イメージしにくいのは世界の方かと思います。どちらの会社とも写真が載っているのですけれども。

例えば、東京書籍の61ページ、62ページをあけてください。アフリカの地図があります。帝国書院も79ページ、80ページにヨーロッパ、アフリカの地図がございます。どちらも写真があります。その場所の様子、動物がたくさんいる等を解説されている東京書籍。それから、帝国書院の特徴としましては、ここにエジプト、ガーナの人の暮らしの写真があり

ますが、各地方、次のページにはロシア、オランダ、イタリア等の人の暮らしが写っている写真というのが載っているのが特徴です。

(長田教育長)

他にございませんでしょうか。

特にないようでしたら投票に入りたいと思いますが、よろしいですか。

それでは、これから投票を行います。

(投票)

(長田教育長)

帝国書院さん、6票。過半数を超えておりますので、帝国書院さんの教科書を採択することといたします。

では、教科書の入れかえを行います。しばらくお待ちください。

(教科書入れかえ作業)

(長田教育長)

よろしいでしょうか。それでは、次の種目の説明をお願いします。

(植木担当係長)

算数科の記載内容について報告いたします。

算数科の授業は、1年生は年間136時間、2年から6年生は175時間授業時数があります。

調査研究の対象となる教科書図書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、日本文教出版の6社、6種、58点です。

まず、東京書籍から報告いたします。

報告書の3ページをおあけください。サイズは、1年生①のみA4判で、他はB5判となります。

観点アについて説明いたします。

3年生上、77ページをおあけください。

「めあて」に対応した「まとめ」が記されていて、児童が見通しをもって学習したり、本時の学習について自己評価できたりする工夫がなされています。

観点イについて説明いたします。

2年生下、89ページをおあけください。

割合は、5年生の単元ですが、こちらのように2年生から系統的に学べるように工夫がなされています。

観点ウについて説明いたします。

3年生下、77ページをおあげください。

ページ下に、本時の学習の振り返りを示す児童のイラストがありますが、これは次の時間に向けて進んで取り組める姿勢を育むよう工夫がなされています。

観点エについて説明いたします。

3年生上、99ページをおあげください。

こちらは、テープ図と数直線図を併用した図ですが、数直線図を用いて立式するという流れを低学年時から貫いていて、図を用いて説明する積み上げを意識した工夫がなされています。

観点オについて説明いたします。

1年生①、14ページから17ページをおあげください。

1年生、4月・5月の単元がA4判の中とじの冊子で「数の練習のためのノート機能」があり、また、教科書に数ブロックを置いて操作しやすく、数の練習を多くできる工夫がなされています。

以上で、東京書籍の報告を終わります。

次に、大日本図書について報告いたします。

報告書の5ページをおあげください。サイズは、全学年B5判となります。

観点アについて説明いたします。

5年生、168ページと252ページをおあげください。

各単元末にある「確かめ問題」や、巻末にある「プラスワン」では、練習問題が充実しており、知識の定着に向けて工夫がなされています。

観点イについて説明いたします。

4年生、31ページと32ページをおあげください。

「じっくり深く学び合おう」が表示されている問題では、発表の仕方等が示されており、学び合う活動を通して数学的な考え方を育む工夫がなされています。

観点ウについて説明いたします。

3年生、143ページをおあげください。

ページ下にある「算数たまたまばこ」は、単元の中で日常生活の場面を算数の学習へ。また、学習したことを日常生活に生かす活動を取り入れられるよう工夫されています。

観点エについて説明いたします。

5年生、182ページをおあげください。

「表やグラフを生かそう」では、児童が実際にグラフや表を用いた資料を作成していく際、その手順や留意点を示し、表現する力やデータを活用する力を高める工夫がなされています。

観点オについて説明いたします。

6年生、147ページをおあげください。

教科書に登場するイラストの児童の一人に、外国にルーツを持つ児童を設定しており、外国人児童等に配慮した今日的な課題にも対応しています。

以上で、大日本図書の報告を終わります。

次に、学校図書について報告いたします。

報告書の7ページをおあけください。サイズは、全学年A B判となります。

観点アについて説明いたします。

3年生上、18ページ、19ページをおあけください。

毎時間、左端に緑色で示されている「やってみたいな」「調べたいな」「考えたいな」等の学習活動が明示されており、児童が見通しを持って活動ができるよう工夫がなされています。

観点イについて説明いたします。

5年生下、107ページをおあけください。

問題解決するために系統的に図の学習が構成されていて、数直線図と4マス関係表と併用して提示することで、より多様な方法で思考力の育成を狙う工夫がなされています。

観点ウについて説明いたします。

6年生別冊の26ページをおあけください。

6年間の復習に加え、「中学へのかけ橋」として中学校で学習する内容に一部触れる等、中学校へのスムーズな接続を考えた工夫がなされています。

観点エについて説明いたします。

1年生下、70ページをおあけください。

全学年の巻末にプログラミング教育のページが設けられており、論理的思考を養うための工夫がなされています。

観点オについて説明いたします。

3年生上、91ページをおあけください。

教科書が幅広ですっきりして見やすく、また、表やグラフが大きく表示されていて、書き込みやすい工夫がなされています。

以上で、学校図書の報告を終わります。

続いて、教育出版について報告いたします。

報告書の8ページをおあけください。サイズは、全学年B 5判となります。

観点アについて説明いたします。

2年生下、78ページをおあけください。

単元末の「学んだことをつかおう」では、単元で学んだことを日常生活につなげる問題が掲載されていて、知識の習得に向けた工夫がなされています。

観点イについて説明いたします。

5年生、112ページをおあけください。

ページ下にある「考えるヒント」には、つまずきやすい傾向とその対策が示され、思考

力、表現力を育成するための手立てとして工夫がなされています。

観点ウについて説明いたします。

2年生下、100ページをおあげください。

教科書の随所に設けられている「算数ワールド」では、身近な場面を扱っていて、知的好奇心が高まる問題や読み物が取り上げられています。

観点エについて説明いたします。

4年生下、30ページをおあげください。

各学年のグラフの学習時に、グラフを作成する際のデータ収集から分析、結論までの留意をまとめる工夫がなされています。

観点オについて説明いたします。

4年生下、158ページをおあげください。

2年生以上の巻末に、「学習のてびき」として数直線図の書き方、角度の測り方や垂直・並行の書き方等が図や写真で示されており、既習事項の振り返りや確認ができる工夫がなされています。

以上で、教育出版の報告を終わります。

続いて、啓林館について報告いたします。

報告書の9ページをおあげください。サイズは、全学年B5判となります。

観点アについて説明いたします。

5年生、10ページと248ページをおあげください。

各学年の巻末に全学年の「学習の振り返り」が記されており、単元初めに該当するその巻末ページを示し、復習できるよう配慮されています。

観点イについて説明いたします。

2年生下、31ページをおあげください。

単元の後半にある「自分の力で」では、ほぼ児童の力だけで自力解決する学習場面が設けられており、数学的な考え方をさらに高める工夫がなされています。

観点ウについて説明いたします。

6年生、234ページをおあげください。

6年生巻末の「広がる算数」では、いろいろな職業での算数の使われ方が示されており、将来、算数がどのように生かされるのかがよく分かり、算数の有用性に気づくことができる工夫がなされています。

観点エについて説明いたします。

3年生上、148ページをおあげください。

巻末にある「算数資料集」では、説明の仕方や図の描き方を示すことで、学び合う方法を身につけることができる工夫がなされています。

観点オについて説明いたします。

4年生上、73ページをおあげください。

分度器を用いた角の測り方や、三角定規を用いた並行・垂直の作図の仕方について写真を用いて分かりやすく示す工夫がなされています。

以上で、啓林館の報告を終わります。

最後に、日本文教出版について報告いたします。

報告書の11ページをおあけください。サイズは、全学年B 5判となります。

観点アについて説明いたします。

4年生上、71ページをおあけください。

単元前の「次の学習のために」では、これまでの学習を振り返るページが設けられており、系統だった学習内容を学ぶことで新しい単元に挑めるような工夫がなされています。

観点イについて説明いたします。

5年生上、151ページをおあけください。

巻末の「学び方ガイド」で学習の流れが詳しく説明されており、学び合いの方法など問題解決の学習方法が示される工夫がなされています。

観点ウについて説明いたします。

3年生下、104ページをおあけください。

「算数アドベンチャー」は、他教科や日常生活に結びつけた問題を扱っており、算数で学んだことを生かす工夫がなされています。

観点エについて説明いたします。

6年生、184ページから191ページをおあけください。

「データを集めて問題を解決しよう」では、データ活用による問題解決の流れをまとめ、論理的思考を養うための工夫がなされています。

観点オについて説明いたします。

2年生上、58ページをおあけください。

ポイントとなる吹き出しには、背景色をつけたり、黒以外の色の文字を使ったりする工夫がなされています。

以上で、日本文教出版の報告を終わります。

以上で、算数科調査研究の報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、御意見、御質問等はございますか。

(今井委員)

済みません、よろしいですか。算数は、特にどこかにつまずいてしまう子は、なかなか先に進んでいけないという場合も出てくると思うのですけれども。神戸の子供たちがつまずきやすい時期で、できるだけつまずきを軽くするような形で、どう生かせるかという観点で見た時に、各社さんで何か特徴的なことがあれば教えていただけますか。

(植木担当係長)

今、説明させてもらったように、つまりいた時にこのページに振り返って学習しようというように示されているページがありますので、どこの教科書会社さんもそういうところはかなり工夫をされていると感じられます。

(今井委員)

各社さんに特徴とかはそんなにない感じですか。そこはもう大体似通ったものですか。

(植木担当係長)

そうですね。例えば、東京書籍さん等は目次を見ていただくと分かるのですが、系統だった紹介が、後の学習だとか、前の学習が示されていたりしておりますし。

先ほどの説明にもありましたように、日本文教出版社さんのように、新しい単元に入る前に前の学年の学習を振り返るといふ、そういう準備をするような工夫もされているということで、1つ例として挙げさせてもらっています。

(梶木委員)

よろしいでしょうか。先ほど、大日本図書さんの時に、巻末に問題が多いというお話だったので、そういうのは子供たちが自分で問題を解くということにいいのだというお話だったと思うのですが。

計算ドリルですね。そういうような自分で家庭学習的なものは使って授業をされているのですか。

(植木担当係長)

そうですね。家庭学習等で計算ドリル等も使うこともあるのですが、やはり、教科書でも繰り返して練習をするような、大日本図書さんだとか、学校図書さんも問題数が豊富にあるということで、教科書と計算ドリル等を併用して使う学校が非常に多いです。

(梶木委員)

それは、学校に委ねられていて。例えば、大日本図書さんのようなそういう教科書を使う場合だったら計算ドリルはなしでいこうという判断は、先生方がされるということですか。

(植木担当係長)

各学校さんで判断されると思います。

(梶木委員)

もう一ついいですか。プログラミング教育について、学校図書さんのところで御説明いただいたのですけれども。他の教科書会社さんのところにプログラミング教育的な記述のあるところというので違いがありますでしょうか。

(植木担当係長)

そうですね。今回、プログラミング教育というのが取り上げられていますので、特に5年生ではどこの教科書会社さんでも、円と多角形というところで丁寧に扱われているということで工夫はされていると思います。

また、二次元コードで読み取ったらそういうページが出てくるということも示されていると。

(梶木委員)

もうちょっとだけ、今のを具体的に説明していただいてもいいですか。円と多角形で、どんなところが、どこに。

(植木担当係長)

例えば、こちらは啓林館さんにあるのですけれども。190ページ、円と正多角形があるのですけれども。こちらの単元に二次元コードが示されていると思うのですけれども、こういうところからプログラミング教育につながるということになっております。

例えば、大日本図書さんの250ページに示されているように、コンピューターを使ってこのような形でプログラミングソフトウェアというものがあるのですけれども、こういうものを使って多角形を作成していくと。

キャラクターがいるのですけれども、例えば、10個進むという命令を出して右に60度向きを変える。さらに10個進む。右に60度向きを変えるというような、そういう指示を出せば正多角形ができるというものがあります。

日本文教出版社さんは、61ページ。こちらも、こういうプログラミングソフトを使って命令を出して、こちらに示されているのは正方形の作図ということで、こういう命令を出してパソコンでキャラクターを動かして正多角形を作成するというものが示されております。

東京書籍さんでは、134ページ。

(山本委員)

何年生ですか。

(植木担当係長)

5年生です。5年生の下になります。136ページです。

このような形で命令を出して、子供にパソコンを操作させて正多角形を作成するという
ことで学習に入っています。

教育出版さんは、5年生の228ページ。

このように、プログラミング教育はどの教科書会社さんもパソコンを使った多角形の学
習が入れられているということでございます。

(長田教育長)

他にございませんでしょうか。

(山本委員)

先ほども、東京書籍さんや学校図書さんの説明の中であつたのですけれども、教科書に
子供が直接書きこむというのが以前に比べたら随分増えてきたのかなという感覚を持つ
のですけれども。このあたりについての捉え方というのは、例えば、ノートとの関係など
を含めたらいかがですか。

(植木担当係長)

神戸市では、ノート指導を学校全体で1年生から6年生までを通して徹底しようとい
うことで取り組んでおられる学校さんもあるのですけれども。やはり、直接書き込むとい
うことも決して悪くはありませんので、時間のことも考えてそのように効果的に教科書
を活用するという部分では、特に書いてはいけませんよとか、書き込みましょうとい
うことはいいですけれども、教科書をどんどん活用していただけたらなと思います。

(山本委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

他にございませんでしょうか。

どうぞ。

(今井委員)

先ほどの説明の中にもあつた東京書籍さんのは、すごく大きいサイズのものを1年生
の初めだけ使うという。こういうのがあるのは東京書籍さんだけなのですね。

(植木担当係長)

そうですね。このように中とじて、先ほどの14ページ、15ページ等は、この絵の上に直

接ブロックを置いて1年生の子供たちが操作するというような、割と開けるような教科書を使われているのは東京書籍さんだけです。

(今井委員)

使い勝手は、どんなふうに捉えられていますか。

(植木担当係長)

どうしても今までの教科書でしたら厚みがあるので、真ん中に谷間ができてしまってブロックを置いたらずれ落ちてしまうようなことになるので。教師によっては、その教科書を印刷して白黒の状態の子供たちに操作させるというようなことが多いです。

(山本委員)

いわゆる、幼・保・小の連携は。神戸なんかはつばめプロジェクトも含めて、よくその連携をとられているし。そういう意味では、こういうスタートカリキュラムの一環かなという気がするのですけれども。

もう一つ、逆に、6年生、中学校へのつながりみたいなどころのあたりでの工夫みたいなものは、どこかあるのでしょうか。

(植木担当係長)

先ほどもお伝えしましたように、学校図書さんは中学へのかけ橋ということで、これは発展教材になるのですけれども、やはり、中学になって算数の授業から数学の授業に変わると子供たちにとっては不安に思うということがありますので。学校図書さんを初めとして、やはり、そういうところは払しょくしようと教科書会社さんは努力されていると思います。

(長田教育長)

よろしいでしょうか。特にないようでしたら投票に入りたいと思いますが、よろしいですか。

それでは、これから投票を行います。

(投票)

(長田教育長)

東京書籍さん5票、啓林館さん1票。よって過半数を超えておりますので、東京書籍さんの教科書を採択することにいたします。

午前中はこの程度にとどめまして、昼休憩を約1時間とらせていただきます。1時5分

再開といたします。

(昼休憩)

(再開)

(長田教育長)

それでは、再開いたします。

次の種目の説明をお願いします。

(谷後指導主事)

それでは、理科の記載内容について報告いたします。

まず、概要についてお話しします。

理科の授業は、3年生は年間90時間、4年から6年生は105時間授業時数があります。

調査研究の対象となる教科用図書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、信州教育出版社、啓林館の6社、4種、24点です。

では、まず、東京書籍から報告します。

3ページをおあげください。サイズはA4判となります。

観点ごとに説明します。

観点アを説明します。

4年生、52ページをおあげください。

4年生から「学びをつなごう」が設定され、今まで学んできたことが関連づけられて整理されており、科学的な概念の形成を図る工夫がなされています。

観点イ、4年、6ページをおあげください。

「理科のミカタ」が頻繁に掲載されており、どのような理科の見方をすればよいか分かる工夫がなされています。

観点ウ、6年、10ページをおあげください。

「理科のひろば」では、理科からつながる様々な仕事が紹介されており、理科を学ぶ意義について考えたり、学ぶ意欲を高めたりする工夫がなされています。

観点エ、5年、123ページをおあげください。

「レベルアップ理科の力」では、多様な話し合いの方法が紹介されており、対話的な学びにつながる工夫がなされています。

観点オ、5年、96ページをおあげください。

教科書のサイズがA4判で写真や図などが大きく掲載されており、見やすい工夫がなされています。

以上で、東京書籍の報告を終わります。

次に、大日本図書について報告します。

5 ページをおあけください。サイズは、全学年A B判となります。

観点ごとに説明します。

観点ア、6年、70ページをおあけください。

単元最後の「たしかめよう」、それから、216ページをおあけください。巻末の「各学年のまとめ」。220ページをおあけください。「チャレンジ問題」で繰り返し問題を解くように構成されており、知識技能が習得できる工夫がなされています。

観点イ、6年、16ページをおあけください。

問題解決の過程のラベルに、星印が示されており、学年において主に育ててほしい問題解決の力が分かる工夫がなされています。

観点ウ、5年、巻末をおあけください。

5年生の巻末には「災害にそなえようブック」がついており、家庭で防災が意識できる工夫がなされています。

観点エ、5年、8ページをおあけください。

各学年で主に「育ててほしい問題解決の力」が示されている場面で、話し合いをしているイラストが示されており、主体的、対話的な学びにつながる工夫がなされています。

観点オ、5年、5ページをおあけください。

E S Dマーク等の様々なマークが示されており、理科の学びと何に関連しているのかが分かる工夫がなされています。

以上で、大日本図書の報告を終わります。

次に、学校図書について報告します。

7ページをおあけください。サイズは、全学年A B判となります。

では、観点ごとに説明します。

観点アの説明をします。

6年、221ページをおあけください。

巻末には、実験器具の使い方の手順がチェックシートで掲載されており、正確に操作できる工夫がなされています。

観点イ、6年、154ページをおあけください。

6年生、水溶液の性質では、整理して考える図が設定されており、意識的に論理的な思考を働かせる工夫がなされています。

観点ウ、6年、172ページをおあけください。

「科学者の伝記を読もう」では、著名な科学者の功績が紹介されており、理科を学ぶ意義が分かる工夫がなされています。

観点エ、5年、175ページをおあけください。

「伝える・聞く」では、グループでの交流の様子が示されており、話し合い活動の方法が分かる工夫がなされています。

観点オ、5年、5ページをおあけください。

問題解決を進める上で必要な考え方や技能がマークで示されており、問題解決の方法が分かる工夫がなされています。

以上で、学校図書の報告を終わります。

続いて、教育出版について報告します。

9ページをおあげください。サイズは、全学年A4変形判となります。

観点ごとに説明します。

観点アを説明します。

6年、19ページをおあげください。

観察・実験の方法など番号と矢印で分かりやすく手順が示されており、安全に観察・実験ができる工夫がなされています。

観点イ、6年14ページをおあげください。

自分の予想したことと、実験をした後の結果とをつなぐ「結果の見通し」が実験前に位置づけられており、見通しをもった問題解決ができる工夫がなされています。

観点ウ、3年、48ページをおあげください。

プールの水生昆虫の採集や大根の種子を発芽させるなど、身近な教材が使用されており、興味や意欲を高める工夫がなされています。

観点エ、4年、7ページをおあげください。

巻頭の「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」では、話し合う時に使う言葉が整理されており、言語活動の充実につながる工夫がなされています。また、16ページの下にも、この例が載っております。

観点オ、4年、57ページをおあげください。

「大切な理科用語」は、太字とマーカーで示されており、着目しやすい工夫がなされています。

以上で、教育出版の報告を終わります。

続いて、信州教育出版社について報告します。

11ページをおあげください。サイズは、全学年AB判となります。

観点ごとに説明します。

観点アを説明します。

6年、8ページをおあげください。

観察、実験している写真が多く掲載され、危険な実験には安全めがねを着用した写真が掲載されており、安全面に配慮された工夫がなされています。

観点イ、4年、11ページ、12ページをおあげください。

多様な生き物が扱われており、生命領域で大切な見方である共通性と多様性に気づきやすい工夫がなされています。

観点ウ、4年、56ページをおあげください。

資料では、身近な動植物の標本づくりの例が示され、自然界に親しみを持ちやすい資料

が扱われており、生命の神秘性に気づかせる工夫がなされています。

観点エ、5年、21ページをおあげください。

単元の導入では、話し合い活動や体験活動を通して問題を見つける構成になっており、主体的、対話的な学びにつながる工夫がなされています。

観点オ、5年、91ページ、109ページをおあげください。

問題を解決する過程の実験や観察、調査において、どの学年も同じ色で統一されており、見やすく分かりやすい工夫がなされています。

以上で、信州教育出版社の報告を終わります。

最後に、啓林館について報告します。

13ページをおあげください。サイズは、全学年A B判となります。

観点ごとに説明します。

観点アの説明をします。

5年、11ページをおあげください。

単元の初めの「問いかけ」、27ページをおあげください。再度、単元末に考える活動が設定されており、知識の習得を実感することができる工夫がなされています。

観点イ、6年、198ページをおあげください。

それぞれの学年の「理科を振り返ろう」では、理科の見方が整理され、巻末をおあげください。科学者の言葉から理科の考え方について学ぶ場面が設定されており、科学的に問題を解決していくために必要なことが分かる工夫がなされています。

観点ウ、6年、111ページをおあげください。

単元末の「つなげよう」では、理科で学んだことが日常生活に生かされていることが紹介されており、理科の有用性に気づく工夫がなされています。

観点エ、3年、8ページをおあげください。

その学年までの理科の学びや、実験器具の使い方の動画が掲載されたウェブサイトとつながる二次元コードが多数示されており、主体的に情報を収集するための工夫がなされています。

観点オ、そのまま裏表紙を見てください。MUDマークがついており、イラスト等色彩がやさしく見やすい工夫がなされています。中をめくってみてください。

以上で、啓林館の報告を終わります。

以上で、理科調査研究の報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、御意見、御質問はございませんか。

(梶木委員)

よろしいですか。理科の授業の中である実験だったりとか、観察だったりとかという子

供たちが主体的に学んでいくことってすごく大事だと思うのですけれども。特に、全てが学校の教室の中でできるわけではないと思いますので、教科書というのは、子供たちが実際に体験できないものをいかにも体験できているようにというのが分かるということも大事なところなのかと思うのですけれども。

そういう意味では、例えば、写真がすごく実物に対して分かりやすいとか、子供たちの興味関心を引き出しやすいような工夫がされている箇所、複数の教科書で同じところでもいいのですけれど、こんなふうにされているというのを教えていただけたらと思います。

(谷後指導主事)

よく分かるのが、5年生の人の誕生のところがあるのですけれども。どこの会社も多くは、例えば、東京書籍でいうと5年生の126ページ。こういうおなかの中の赤ちゃんの写真と絵なのですけれども、掲載されています。大日本図書でいうと164ページ。それから、学校図書さんでいうと167ページ。教育出版社でいうと180ページ。それから、信州教育出版社でいうと68、70ページ。それから、啓林館さんでいうと、人の誕生が載っているのが46ページ、47ページという形で。

結構、実物大に近いような形で示されているというところも多く、実際に、自分のおなかのところにあててこれぐらいの大きさというのを見せるような活動というのが紹介されています。特に、人体というのは、なかなか中が見えませんが、それを見える化するという工夫が各社いろいろされているかなと思います。

(梶木委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

他にございませんか。

(山本委員)

若い先生方が大量に採用される時代となった中で、特に、理科は実験だとか観察が含まれるので、ちよくちよく「あまり理科を教えるのは得意ではない。」とか、「ちょっと、僕は苦手なのです。」という声をよく聞くのです。

そういったあまり得意でない先生方も含めて、すごく丁寧にいろいろ書いてあるのですけれども、使いやすさとか、扱いやすさという点はどのように考えますか。

(谷後指導主事)

どの会社さんもその手立てというのは見られます。幾つか紹介いたしますと、東京書籍さんでいうと、まず、導入のところを漫画のような形のかけ合いで分かりやすく、入りや

すくしていたり。ところどころにノート例という形で、子供たちがどうノートを書いているかという例が示されていたり。あと、「主に育てたい問題解決の力」というところで、「レベルアップ理科」みたいな形で示されているというところがあったり。

また、大日本図書では、やはり、理科用語を習得するための工夫という形で、たくさん、先ほども例を出させてもらったのですけれども。やはり、いろいろな問題を解く、活用の問題を解く、いろいろ習得した知識をどんどん活用していくことが書かれてあったりとか。

学校図書さんでいうと、問題解決の過程というのはとても大事になるので、今、この実験はどの過程を進んでいるのかというのが教科書の下に示されていたりというので、今、何をやっているのかというのが分かりやすくなっております。

それから、教育出版社は、これもノート例がとてもたくさん出ているのと、ここは板書例がついています。教師が板書を書く時の、こういうふうに書いたらいいよという例示もされております。

信州教育出版社は、実験方法の具体的なやり方を写真に撮って、本当にやっているような様子が分かります。

啓林館さんは、問題づくりのところが身近なところからスタートしています。6年生のものの燃え方であったら、キャンプファイヤーから集気びんとかその実験に行くのではなくて、その間に空き缶で本当に実際に燃やしてみるというところをスタートしていたりとか。あと、理科室で実験をするという時には、必ず4年生からですけれども、理科室の使い方みたいな実験器具のそういった紹介などをされております。

(山本委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

他にございませんか。

(今井委員)

すみません、いいですか。6年生とか、教科書の後ろに付録的についでいる、東京書籍さんだったら。この使い勝手とか、何か特徴的なことがありましたら。

(谷後指導主事)

そうですね。いろいろな各社の工夫がそれぞれあるというのがあって。特に、こういうところというのは、実際には見られないというか、例えば、啓林館さんだったら、これ、観察なのでどうしても夜とかになってしまうので。そういう、なかなか実験とかができないところを補うようなものであったり、知識を広げていく、人体なんかもそうなのですから、広げていったりとか。

ただこういうものがあると、子供たちは特に興味は持つとは思うのですがね。
教育出版さんも、こういう星のやつがあったりしますし。3年生なんかはこういう昆虫
のやつとか、図鑑か何かが。

以上です。

(長田教育長)

他にございますか。

特にないようでしたら投票に入りたいと思いますが、よろしいですか。

それでは、これから投票を行います。

(投票)

(長田教育長)

東京書籍さん2票、啓林館さん4票。よって過半数を超えておりますので、啓林館さん
の教科書を採択いたします。

それでは、教科書の入れかえをいたします。

(教科書の入れかえ)

(長田教育長)

それでは、説明をお願いします。

(光田担当係長)

失礼します。生活科の記載内容について報告いたします。

まず、概要についてお話しします。

調査報告書1ページをお開きください。

生活科の授業は、1年生は年間102時間、2年生は105時間授業時数があります。

調査研究の対象となる教科用図書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、信
州教育出版社、光村図書、啓林館、日本文教出版の8社、8種、16点です。

まず、東京書籍から報告します。

調査報告書3ページをおあけください。サイズは、A4判です。

観点アについて説明します。

上巻、68ページ、69ページをおあけください。

「たのしい秋いっぱい」では、初めに、校庭で秋みつけをした後、校区の公園でさらに
秋を見つける活動を行い、集めた葉っぱや木の実で遊ぶという展開になっており、1年生
の活動や思考が自然な流れとなる工夫がなされています。

観点イについて説明します。

上巻、35ページをおあげください。

観察カードの書き方では、1年生入学当初に「見つける」「あさがおの葉をさわって、ざらざらしていました。」「比べる」「なつきさんのつぼみとちがいます。」「例える」「ソフトクリームみたいです。」等の具体的な記載例があり、見たことや感じたことを確かな認識につなげる工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

下巻、52ページをおあげください。

子供同士の会話文やグループやペア、学級全体で交流し、学びを深めている場面が挿絵を用いて示されており、主体的、対話的で深い学びを進める工夫がなされています。

観点エについて説明します。

下巻、85ページをおあげください。

観察カードやニュース記事、お世話になった方への感謝の手紙等、学習をまとめる方法が多く示されており、言語活動の充実につながる工夫がなされています。

観点オについて説明します。

同じページです。下巻、85ページをおあげください。

教科書のサイズが大きく、余白が多く取られており、文字が読みやすい配慮がなされています。

以上で、東京書籍の報告を終わります。

次に、大日本図書について報告します。

調査研究報告書5ページをおあげください。サイズは、上下巻ともA B判となります。

観点アについて説明します。

上巻、23ページをおあげください。

ページの右脇に、学習に必要な言葉や資料が示されており、活動の幅を広げる工夫がなされています。

観点イについて説明します。

下巻、87ページをおあげください。

発見カードの例が数多く掲載されており、主体的に自分の表現の仕方を選択する工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

下巻、65ページをおあげください。

ページ右下です。学校で学んだことを家族に伝える活動が示されており、活動の振り返りを通して、自分の成長とこれからの自分について考える工夫がなされています。

観点エについて説明します。

上巻、73ページをおあげください。

学級のお友達、保護者、幼稚園・保育所の園児など、様々な相手と交流する場面が示さ

れており、言語活動の充実につながる工夫がなされております。

観点オについて説明します。

表紙をご覧ください。

表紙の手ざわり、色の使い方が独特で、興味を持って学習に取り組む配慮がなされています。

以上で、大日本図書の報告を終わります。

次に、学校図書について報告します。

調査研究報告書6ページをおあげください。サイズは、上下巻とも変形A判となります。

観点アについて説明します。

上巻、62ページをおあげください。

「あきの木のは」では、コナラ、マテバシイ、ミズナラなど、木の実とその葉と一緒に記載されており、自力で学習できる工夫がなされています。

観点イについて説明します。

上巻、29ページをおあげください。

「はながさいた」では、算数の学習につながる「さいたはなのかず調べ」の活動が示されており、他の教科の学びを生かす工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

下巻、99ページをおあげください。

「わたしはっけん」では、家族との関わりが重視されており、自分について考え、自己の変容に気づく工夫がなされています。

観点エについて説明します。

上巻、90ページをおあげください。

「いきものだいすき」では、モルモットを飼育する際の注意点や、飼育をしての気づきをまとめる方法、劇やダンスで表現する方法等が示されており、他の教科と関連して学ぶ工夫がなされています。

観点オについて説明します。

上巻、31ページ、118ページをおあげください。

31ページ、「ものしりノート」、118ページ「まなびかたずかん」では、情報やヒントが分かりやすく示されており、活動を広げたり、深めたりする工夫がなされています。

以上で、学校図書の報告を終わります。

続いて、教育出版について報告します。

調査研究報告書7ページをおあげください。サイズは、上下巻ともAB判となります。

観点アについて説明します。

下巻、86ページ、87ページをおあげください。

見開き2ページのレイアウトは見やすく配置されており、その単元で必要な知識や技能を習得する工夫がなされています。

観点イについて説明します。

上巻、35ページをおあげください。

右ページ上の「ヒント」が見つける、例える、比べるなどの活動の手助けとなっており、気づきの質を高めることができる工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

下巻、66ページをおあげください。

「まちがだいすきたんけんたい」では、町の人仕事を体験するミニトリアルウィークのような学習が示されており、町の人との関わりを深める工夫がなされています。

観点エについて説明します。

上巻、43ページをおあげください。

「つたえたいな」のコーナーでは、家庭でも繰り返し活動できるようになっており、学校と家庭で学びが行き来できる工夫がなされています。

観点オについて説明します。

上巻、77ページをおあげください。

動植物の写真は、実物のような鮮やかな色調で興味を引く工夫がなされています。

以上で、教育出版の報告を終わります。

続いて、信州教育出版社について報告します。

調査研究報告書9ページをおあげください。サイズは、上下巻ともA B判となります。

観点アについて説明します。

上巻、34ページをおあげください。

生き物や季節の行事、その土地のもの等が掲載されており、地域の特色を生かす工夫がなされています。

観点イについて説明します。

上巻、44ページをおあげください。

ヤギを飼育する2年間で、小屋をつくる、厳冬に備える、出産させるまでの課題に出合う様子が示されており、思考力を育む工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

上巻、80ページをおあげください。

四季の変化に合わせた様々な活動が示されており、自然との関わり工夫がなされています。

観点エについて説明します。

下巻、20ページをおあげください。

私たちが住む町では、自分たちの住む町の祭りや地域の民話等を取り上げて調べ、発表する場が提示されており、言語活動の充実のための工夫がなされています。

観点オについて説明します。

上巻、80ページをおあげください。

イラスト、版画、写真等が大きく提示され、興味をもって取り組む配慮がなされています。

以上で、信州教育出版社の報告を終わります。

続いて、光村図書出版について報告します。

調査研究報告書10ページをおあげください。サイズは、上下巻ともA B判となります。

観点アについて説明します。

上巻、45ページをおあげください。

植物の育て方や秋まきの植物の紹介など詳しい記述があり、知識及び技能の習得の工夫がなされています。

観点イについて説明します。

上巻、39ページ、40ページをおあげください。

絵だけの発見カードには、文字が入るようになったり、その文字数が増えたり、算数の学習につながるあさがおの数しらべや、次のページですが、10個ずつあさがおの種の数を数えたりするので、発達に応じて表現方法を変化させたり、他教科との関連を図ったりする工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

上巻、71ページをおあげください。

単元の最後の「ジャンプ」では、「どんなことをしたかな」「もっとやってみたいことは何だろう」「みんなではなそう」と互いの考えを交流する場面が設定されており、対話的な学習ができる工夫がなされています。

観点エについて説明します。

下巻14ページ、同じく下巻73ページをおあげください。

「まちたんけん」では、見つけた情報が、活動の深まりとともに73ページのように増えている様子が挿絵で示されており、その情報をもとに次の活動につなげる工夫がなされています。

観点オについて説明します。

上巻、25ページをおあげください。

校外での活動等広範囲に及ぶ学習活動では大きな挿絵が示されており、学習活動のイメージをもつ工夫がなされています。

以上で、光村図書出版の報告を終わります。

続いて、啓林館について報告します。

調査研究報告書11ページをおあげください。サイズは、上下巻ともA B判となります。

観点アについて説明します。

上巻、75ページをおあげください。

昆虫を扱う教材では、カマキリやショウリョウバッタなど実物大の写真で子供たちが目にするような角度で提示しており、実際に昆虫に触れる機会の少ない地域の子供たちも対

象へ興味を持って学習できる工夫がなされています。

観点イについて説明します。

上巻49ページ、下巻52ページをおあげください。

まず、上巻49ページ、「なつのこうていにでてみよう」で、「運動場に水で書いた絵がすぐに消えたのはなぜ」。下巻52ページ、「みんないきている」で、「トンボもチョウも足が6本だね。」と、理科学習につながる疑問や気づきが示されており、思考力を高める工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

下巻、25ページをおあげください。

右端単元最後の「できるかな」「できたかな」では、学習の振り返りとともに自己の成長を感じ取る視点が繰り返し示されており、学びの成就感や自己の能力を認識する力を育む工夫がなされています。

観点エについて説明します。

上巻、105ページをおあげください。

分からないことや困った時は、「上級生に教えてもらう」「書籍で調べる」「専門家・名人に聞く」「地域の人に学ぶ」等、様々な解決方法が例示されており、情報を収集したり活用したりする力を育成する工夫がなされています。

観点オについて説明します。

上巻、1ページ、「がっこうだいすきあいうえお」、スタートブックの1ページをおあげください。

「がっこうだいすきあいうえお」は、入学当初の子供たちにとってページをめくりやすい工夫がなされています。

以上で、啓林館の報告を終わります。

最後に、日本文教出版について報告します。

調査研究報告13ページをおあげください。サイズは、上下巻ともA B判となります。

観点アについて説明します。

上巻、25ページをおあげください。

右下の「ふりかえる」「つなげる」では、友達との会話が示されており、学びを深めるきっかけの工夫がなされています。

観点イについて説明します。

上巻、102ページをおあげください。

始業前の教室での自然な交流の様子が示されており、日常の様々な場が学びとなる工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

下巻、67ページをおあげください。

「まちたんけん」では、自分をもっと知りたいことを決めて調べる構成になっており、

人との関わりを深める工夫がなされています。

観点エについて説明します。

下巻、18ページをおあげください。

座席の配置や作品の提示の仕方、資料の扱い方など、学級の様子や話し合いの場等の挿絵が多く、それぞれの発達段階に応じた言語活動の充実を図る工夫がなされています。

観点オについて説明します。

下巻6ページをおあげください。

「学習のめあて」が小単元のタイトルの下に子供のつぶやきのように示されており、意欲的に活動の見通しをもって取り組む工夫がなされています。

以上で、日本文教出版の報告を終わります。

生活科、調査研究の報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、御意見、御質問はございませんでしょうか。

(山本委員)

先日も、幼・保・小の連携で、ある学校のスタートカリキュラムを見せていただいたのですけれども。先ほどの説明の中でも「がっこうだいすきあいうえお」みたいな、生活科の中で。このような例というのは、他のところも含めてスタートカリキュラムの取り扱いはどんなふうになっているのですか。

(光田担当係長)

今回は、どの出版社もスタートカリキュラムについては力を入れて掲載されているというふうに感じております。

特徴でいいますと、幼稚園・保育所との連携。これは、神戸市で今大きな課題となっています。それがまずできなければ、神戸市のスタートカリキュラムはうまくいかないのですが、それをしっかり掲載している出版社。

それと、あと、スタートカリキュラムのスタートが友達同士の交流、好きなことを発表しよう、言い合おうというふうなページからスタートしていたり。あと、スタートカリキュラムの中で、困った時にはどういうことをしたらいいのか、そういうページがあったり。各社によっていろいろです。

それから、ページも先ほど申しましたように、あけやすいような工夫がされている。そして遊びを中心に、まず学習からスタートではなくて、幼稚園・保育所での学習を、学びを生かした手遊びであったり、ゲームであったり、そういう例が記載されている。そういうものがたくさんあります。

それから、教科書会社によりましては、幼稚園・保育園でどんなことを学んできたかと

いうことにページを割いて掲載されているところもあります。こういうところは、指導する先生への刺激につながると思います。

(山本委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

他にございませんか。

(梶木委員)

3年生以降になると、生活科というものがなくなって次の教科に接続されるわけですが、そのあたりの接続について、どのような取り扱いを。

(光田担当係長)

生活科では、先ほど申しました、幼児期との接続、それから、3年生以降高学年へ向かう接続も大切となっております。

例えば、3年生との接続ですが、教科書会社で具体的にお話させていただきます。

日本文教出版、上巻61ページ、同じく106ページをご覧ください。

例えば、こういうところでは61ページ「なつをもったのしもう」。ここでは、「きょうは、みずがすぐきえたよ。」ですとか、106ページ「ふゆをかんじよう」では、日なたと日かげの温度の違い、こういうことが示されています。

理科以外でも、社会との接続では、これはもう各社ですが、学校探検に行った時、まち探検に行った時には、地域の校区図ですね。マップをつくって学習を進める。これは、地図への学習、社会にもつながっていきます。

それ以外に、総合的な学習のつながりとしましては、教育出版では、例えば、上巻87ページをお開きください。

黒板の図が載っておりますが、1年生でもう既に思考ツール、イメージマップが示されています。イメージマップ、それからYチャート、Xチャート、こういうものにつきましても、啓林館ですとか日本文教出版、そういうところでも示されています。

各教科との接続がありますが、ただ、何よりも教科書というよりも生活科の特性といたしまして、子供たちが主体的に学ぶ、自分の願いや思いを持って学習に取り組んでそれを解決していくということが、やはり学びの意義、学びの楽しさをつかむこととなります。それが高学年への学習の意欲づくりになると考えます。

(梶木委員)

ありがとうございます。どの教科書も、そういう意味では楽しい感じで作られている

ので、わくわくして、見ていても楽しいかなと思います。ありがとうございます。

(長田教育長)

その他、よろしいでしょうか。

特にないようでしたら、投票に入りますので。

(投票)

(長田教育長)

東京書籍さん2票、啓林館さん4票。したがって、過半数を超えておりますので啓林館さんの教科書を採択いたします。

それでは、教科書の入れかえを行いますので、しばらくお待ちください。

(教科書入れかえ)

(長田教育長)

よろしいでしょうか。それでは、説明をお願いします。

(大西指導主事)

それでは、音楽科の記載内容について報告いたします。

まず、概要についてお話しします。

音楽科の授業は、1年生は年間68時間、2年生は70時間、3・4年生は60時間、5・6年生は50時間です。

調査研究の対象となる教科用図書は、教育出版、教育芸術社の2社、6種、12点です。

まず、教育出版から報告します。

報告書の3ページをおあけください。サイズは、1・2年生はA B判で、3年生から6年生はA 4変形判となっています。

観点アについて説明します。

2年、6ページ、7ページをおあけください。

体を動かす活動を通して、速度、強弱などの音楽を形づくっている要素を捉える教材が設定されており、感受から理解、深い学びへとつながる工夫がなされています。

観点イについて説明します。

5年、30ページ、33ページをおあけください。

ページ下部分、方位磁針のマーク、「学びナビ」には学習内容や発問が記載されており、思考判断を促し、思いや意図をもって表現したり、曲の特徴を捉え、よさを味わったりするための工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

5年、22ページ、23ページをおあげください。

方位磁針マーク、「学び合う音楽」には何をどのように学ぶのかという学びのプロセスが明記されており、見通しをもって主体的に学ぶための工夫がなされています。

観点エについて説明します。

3年、76ページをおあげください。

巻末の「音楽を表すいろいろな言葉のページ」では、音楽の特徴を表す様々な言葉の例が示されており、聴き取ったことや感じ取ったことを言葉で表すための工夫がなされています。

2年生から6年生の教科書に記載されており、学年が上がるにつれて語彙が増えていきます。また、自分や友達が見つけたり感じたりした言葉を書き込む欄が設けられており、言語活動の充実につながる工夫がなされています。

観点オについて説明します。

3年、77ページを開いてください。

3年生以上では、色と形で右手と左手の位置が視覚的に分かるリコーダーの運指表が折り込みになっており、他のページの楽譜を見ながら運指を確認することができる配慮がなされています。

以上で、教育出版の報告を終わります。

次に、教育芸術社について報告します。

報告書の5ページをおあげください。サイズは、全学年A4変形判となります。

観点アについて説明します。

4年、36ページ、37ページをおあげください。

旋律の動きや音色の特徴などが絵や図形、色で表されており、視覚的に捉える工夫がなされています。

観点イについて説明します。

4年生、37ページ、今、ご覧になっているページをおあげください。

曲を聴いて気づいたことや感じたことを整理して記入するワークシートが設けられており、聴き取ったことと、感じ取ったこととの関わりについて考える工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

6年、46ページ、47ページをおあげください。

人々が大切にしてきた歌、前ページの「ふるさと」について、ふさわしい表現方法を考えた後に、家族や地域の人に歌への思いをインタビューする学習活動や、震災の時に歌を歌ったり音楽が演奏されたりしたエピソード、お年寄りとの交流などを紹介するページが設けられており、音楽の存在が人と人をつなぐ絆となっていることを考える工夫がなされています。

観点エについて説明します。

5年、46ページをおあけください。

前ページ、44ページ、45ページの学習を踏まえて、気づいたこと、感じたことや演奏の仕方、歌詞や曲の特徴などについて、様々な活動を通して話し合いながら見つける学習活動が設定されており、言語活動の充実につながる工夫がなされています。

観点オについて説明します。

1年、54ページ、55ページ、3年、32ページ、33ページをおあけください。

明るくやわらかい色調やイラストが使われており、落ちついて学習できる配慮がなされています。

以上で、教育芸術社の報告を終わります。

以上で、音楽科調査研究の報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、御意見、御質問はございませんでしょうか。

(山本委員)

この巻末にある「みんなでたのしく」とか、「音楽ランド」とか。これは、実際の授業の中で、どんなふうに活用されていくのですか。

(大西指導主事)

音楽の授業では、必ずやらなければならない共通教材というものが設定されておりまして、例えば、「春の小川」や「富士山」などですけれども。それ以外にはどのような曲を扱ってもいいとなっております。ですので、学校の実態に合わせて曲を選ぶような形になっております。

例えば、音楽会の前に少し器楽の練習をしたい時に活用したり、または、今回外国語活動なども入っておりますので、英語の歌を学習したりするような歌等も掲載されております。

(山本委員)

もう一つよろしいですか。神戸は音楽専科の先生方がおられるのです。でも、多分、指導時数の関係で1年生、2年生は担任の先生が、専科でない、さほど堪能でなくても1年、2年の音楽に触れることがあると。その先生方にとって、この扱いやすさみたいなものについてはいかがですか。

(大西指導主事)

どちらの会社も工夫がされております。

まず、教育出版では、先ほども紹介させていただいたのですが、「学びナビ」というも

のが設定されておりました、例えば、2年生54ページ、55ページ「春が来た」。こちらを見ていただいたら分かるのですが、下のところにどのように学習していったらいいかというものが書いてあります。これは、担任の先生がただ歌を歌って終わりだけではなく、「歌詞を声に出して読んでみよう」や、「リズムのこと」、「気持ちのこと」、「どんなふうに歌ったらよいか」など、先生方にも分かりやすくなっていますし、また、児童にも非常に分かりやすくなっております。

教育芸術社も、2年生、69ページ「春が来た」。こちらのページは、まず上に「学習のめあて」が記載されておりました、右下にはキャラクターが「こんなふうに工夫してみよう」という吹き出しがついております。このように、専科の先生以外でも学習の流れが分かるような工夫がされています。

(長田教育長)

他にございませんか。

特にないようでしたら、投票に入らせていただいてよろしいでしょうか。

それでは、投票を行います。

(投票)

(長田教育長)

教育出版社さん、5票、教育芸術社さん、1票。よって、過半数を超えておりますので、教育出版社さんの教科書を採択することといたします。

それでは、教科書の入れかえを行いますので、しばらくお待ちください。

(教科書入れかえ)

(長田教育長)

それでは次の種目の説明をお願いします。

(落合指導主事)

図工科の記載内容について報告いたします。

まず、概要についてをお願いします。

図工の授業は1年生は、年間68時間、2年生は70時間、3、4年生は60時間、5、6年生は50時間の授業実施となっています。

調査研究の対象となる教科用図書は、開隆堂出版、日本文教出版の2社、6種、12点となります。

まず、開隆堂出版の方から報告いたします。

報告書の3ページを開けてください。サイズはA4版となります。

観点アについて御説明いたします。

1、2上、38、39ページをお開けください。

子供たちが行為を通して造形的な感覚を働かせることを促す活動の写真やリード文、資料が掲載されており、造形的な特徴を実感的に理解するための工夫がなされています。

観点イについて説明します。

3の上、30ページ、31ページをお開きください。

このページの学習内容と関連した美術作品が、次の32、33ページに掲載されており、活動と鑑賞等に関連しながら、見方や感じ方を深めることができるように工夫されています。

観点ウについて説明します。

1、2の上、3、28、29ページを開けください。そしてそのページはそのままで1、2下、16ページもご覧ください。

活動の様子や表情が臨場感のある大きな写真で示され、学習に興味・関心を持ち、主体的な学びにつながる工夫がなされています。

観点エについて説明します。

3、4、5、57ページをご覧ください。

話し合うためのポイントや方法が分かりやすく示されており、言語活動の充実を促す工夫がなされています。

そのまま左ページ、56ページ真ん中のポイントをご覧ください。

意味のまとまりごとに改行されており、文章の意味が捉えやすい工夫がされています。

以上で、開隆堂出版の報告を終わります。

続いて、日本文教出版について報告します。

報告書5ページをご覧ください。

サイズは全学年A4版となります。

観点アについて説明します。

5、6の上、30、31ページをお開けください。

造形的な視点を意識できるよう、キャラクターがヒントを吹き出しで伝えるとともに、試しながら技能を発揮している場面が写真で示されており、知識と技能を関連づけて、習得できる工夫がなされています。

観点イについて説明します。

1、2下、46、47ページ、ご覧ください。

材料の形や色等をもとに考えられた作品例や活動の様子、表現の過程や、作者のつぶやき、写真のコメント文が掲載されており、発想や構想につなげ、思考を深めるための工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

3、4上、56、57ページをご覧ください。

造形活動を通じた高齢者との交流や、身近な地域、社会とつながる活動が紹介されており、生活、社会と豊かに関わりながら、人間性を育む工夫がなされています。

観点エについて説明します。

5、6の下、44、45ページをご覧ください。

対話している様子や、友人と相談しながら協働して活動を行う様子が、写真や吹き出しを使って示されており、言語活動を通して発想や構想を広げ、見方や感じ方を深めることができる工夫がなされています。

観点オについて説明します。

現在開かれているページ、そのままご覧ください。

このように、全題材が見開き2ページで扱われ、題材名、リード文、めあて、振り返り等が同じ場所に書かれてあり、分かりやすい構成の工夫がなされています。

以上で日本文教出版の報告及び図工科調査研究の報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、御意見、御質問ございませんでしょうか。

(梶木委員)

よろしいですか。2社あるということで、2社の特徴を一言で表すと、それぞれ端的に教えていただければと思います。

(落合指導主事)

まず、開隆堂さんの方なんですけれども題材によって非常に大きな写真が使われていて、臨場感があります。先ほども見ましたが、例えば5、6の下の16ページ、大きな写真がぼんと真ん中に使われていまして、様子が分かるようになっていましたりだとか、あと鑑賞から表現に発展する題材に関して、鑑賞ページが分けられていて、見やすかったりします。それが例として3、4上の30から33ページですね。先ほどのページですね。ちょっと違うページ、ごめんなさい3、4下の36、38、39にも載っています。3、4下の36から39です。

36ページにまず、音に関するような、音を感じるような作品が載っておりまして、38ページ、39ページに実際に自分たちで感じた音を形や色にしようと、鑑賞と表現がリンクするような感じで構成がなされています。これが大きな開隆堂さんの特徴になると思います。

日本文教出版の方はどれでもいいんですけど、開けていただくと、見開きで2ページの中に必要な情報が全て書かれています。例えば、1、2の上の全部一緒の構成なんですけど、30ページ、31ページ、1の上の33ページをご覧ください。

左上にタイトルがあって、その横に黒板の形でめあてがあると。そしてリード文があって、こんな学習するのかな、こんな活動するんだろうなというようなリード文があったり、子供たちが左上から導入が始まって、試行錯誤しながら、31ページの右下あたりに向かっ

て、だんだん作品ができていく。

その向かっていく間に試行錯誤している、途中の作品だとか、様々な子供たちが生み出した作品が載っていますので、こんなものを見ながら子供たちが、こんな考え方もあるんだなんてことをイメージしながら思いを膨らませながら作品づくりに取り組んでいけるのかなと思います。

(梶木委員)

すみません、今おっしゃった言葉の吹き出しの部分があるっていうのは、図工専科の先生がおられない低学年なんかも非常に授業の進め方としてやりやすいというふうに捉えてよろしいですか。

(落合指導主事)

その通りです。この2ページに全てが詰まっていますので、こんな姿を子供が見せたらいいんだなというのは、すごく分かって、図工って難しいなって感じられている先生にもすごく伝わりやすいんじゃないかなと思います。

(梶木委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

他にございませんか。

特にないようでしたら、投票に入りたいと思いますが、よろしいですか。

では、投票を行います。

日本文教出版さん、6票、過半数を超えておりますので、日本文教出版さんの教科書を採択いたします。

それでは教科書の入れかえを行いますので、しばらくお待ちください。

それでは、説明をお願いします。

(巽指導主事)

家庭科の記載内容について報告いたします。

まず、概要についてお話しします。家庭科の授業は、5年生は年間60時間、6年生は55時間、授業時数があります。調査研究の対象となる教科用図書は、東京書籍、開隆堂の2社、2点です。

まず、東京書籍から報告します。

報告書、1ページをお開けください。サイズはA4版です。

報告書3ページをお開けください。

観点アについて説明します。

28ページをお開けください。

袋の製作について、基本的なものから応用的なものへと取り組みやすい袋の作品例が示されています。

続いて、67ページをお開けください。

初めてのミシン学習では、仕組みを学んだ後に、バンダナを使った巾着袋づくりなど、簡単に完成させられる作品例が示されており、楽しみながらミシンの技能を習得することができる工夫がなされています。

観点イについて説明します。

45ページをお開けください。

上の図の5、「実、みそを入れる順序」では、実習材料以外の食品が例示されており、異なった実の組み合わせのみそ汁をそれまでの授業で身につけた知識、技能を活用し、児童が工夫し、考えることができる工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

35ページ、続けて54ページをご覧ください。

35ページの「インターネットでの取引に注意しよう」や、54ページ、「そうじの頻度とダニの数」など、今の児童の生活実態に対応し、興味・関心を持って、自分や家族の生活を振り返ることができるような題材が工夫されています。

観点エについて説明します。

104ページをお開けください。

「深めよう」のグループ学習の写真では、意見交流のポイントや、発表の様子等が示されており、対話的な学習の進め方について分かりやすい工夫がなされています。

観点オについて説明します。

83ページ、133ページをお開けください。

色彩が明るく、写真やイラストが大きいいため、見やすく、作業手順がわかりやすい配慮がなされています。

以上で、東京書籍の報告を終わります。

次に、開隆堂について報告します。

報告書1ページをお開けください。

サイズはA B版となります。

報告書5ページをお開けください。

観点アについて説明します。

6ページ、7ページをお開けください。

家庭科の学習で大切な安全について、様々な場面を想定してイラストが書かれており、また、地震や災害が起きた時にはという注意書きや、実習中のチェック項目があり、児童が分かりやすく、気づきやすいよう安全指導の工夫がなされています。

観点イについて説明します。

52ページをお開けください。

下の「やってみよう」の様々なだしのとり方や、味の違いについての実験例は、具体的に実践しやすく、体験活動を通して実感を伴って、伝統的な和食であるみそ汁について、問題解決学習を進めやすい工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

128ページ、129ページをお開けください。

「生活の中のプログラミング」は、例示されている写真から身近な生活の中のプログラミングに気づき、興味・関心を持つとともに、御飯とみそ汁のでき上がりが同時になるように考える作業を通して、段取りよく調理する手順を論理的に考えることができる工夫がなされています。

観点エについて説明します。

110ページをお開けください。

「交流しよう」では、袋の製作を通して実践・工夫したことを製作活用報告書で説明、表現したい、友達の発表を聞く活動を通して、自分の課題に気づいたり、さらによりよくする方法を考えることができる工夫がなされています。

観点オについて説明します。

48ページ、49ページをお開けください。

1つの文章が短く、1つの単語が行をまたがないため、読み進みやすい配慮がなされています。多くのページで同様の配慮がなされています。

以上で開隆堂の報告を終わります。

以上で、家庭科調査研究の報告を終わります。

(長田教育長)

御意見、御質問はございますか。

(山本委員)

どちらの教科書にも、インターネットと接続する二次元コードが掲載されていますけど、接続後の内容とかについては違いはありますか。

(異指導主事)

どちらの教科書につきましても、裁縫や調理の手順についての動画がくわしく映っておりまして、児童にとっても分かりやすいですし、授業の前に先生方がご覧になることで、授業が進みやすくなるものが多数掲載されております。

東京書籍については、最初のページをバーコードで読み込んだら、全てのものがだっと出てくるような感じになっております。

それから開隆堂さんの方はそれぞれの該当するページの方に、それぞれに関係した動画が映るように印刷されています。

(梶木委員)

よろしいでしょうか。今、御説明いただいた部分が家庭科の中で、衣食住の中の食とか、衣の部分がほとんどだったんですけど、衣食住の住の部分で御説明がなかったんですけども、それぞれちょっと例えば見ますと、東京書籍の86ページ、夏を涼しく爽やかにというのと、開隆堂さんの94ページ、随分と掲載されている住宅の絵が違う感じがするんですけども、このあたりは神戸という町に暮らしている子供たちにとって、どちらを学ばせたいというようなものは。そういう部分が割と苦手な先生が多いっていうのは聞くんですけども、いかがでしょうか。

(巽指導主事)

参考になって出ているイラストというのは、あくまでも参考であって、実際に部屋の温度を計ってみるとか、騒音の音を計るとかっていうような活動に関しては、どちらの会社につきましても学校でやるということで、子供たちのプライバシーに配慮するというふうな工夫がなされております。

イラストによって、神戸の子供にとってどちらかというようなことはあまり影響はないのかなというふうに、調査員の方では考えております。

(長田教育長)

他にございませんか。

(今井委員)

すみません、開隆堂さんの御説明の中で初めに、安全に実習しようというのが6ページとか7ページとかでしっかり書かれているというふうに御説明いただいたんですけど、東京書籍さんの方でそういう同じように実習に当たっての安全面の注意というのはどういうふうに書かれているか教えていただけますか。

(巽指導主事)

東京書籍さんの方でも、もちろん安全に関する記載はたくさんございます。どちらの会社につきましても、安全に関わる場所は安全マークというようなもので示されておりますので、先生方がご覧になって、ここは安全のことは気をつけないといけないなということはすぐ分かるようになっているかと思えます。

東京書籍の45ページの「できたかな」の上の部分の安全マークのところですか。鍋は冷めてから洗うというふうな記載があって、これについてはちょっと先生方も授業の中で見落

としがちな部分でもあるので、こういう細かいところまで書いてあるのは、いいなというふうな話は出ておりました。

開隆堂さんについても同様に、様々なところで安全に関するところの記載はたくさんあったかと思えます。

すみません、同じように開隆堂さん、86ページのところで、フライパンに火が入ったら、すぐに火をとめ、鍋のふたをかぶせて消すというふうなことで、こちらに関しても細かいところまで記載されているなというふうに感じます。

(長田教育長)

他、ございませんか。

特にないようでしたら、投票に入らせていただきたいと思えます。

東京書籍さん、5票。開隆堂さん、1票。よって、過半数を超えておりますので、東京書籍さんの教科書を採択させていただきます。

休憩に入らせていただきます。

3時15分再開とさせていただきます。

(休憩)

(長田教育長)

それでは再開いたします。

説明をお願いいたします。

(美藤担当係長)

それでは、保健調査研究報告書の記載内容について御報告いたします。

まず、概要についてお話しします。

保健の授業は、3、4年生は年間4時間、5、6時間は8時間、授業時数となっております。

観点は、アからオの5観点です。

調査研究の対象となる教科用図書は、東京書籍、大日本図書、文教社、光文書院、学研教育みらいの5社、2種、10点です。

では、調査結果について御報告いたします。

まず、東京書籍から御報告いたします。

調査研究報告書の3ページをお開けください。

サイズは、3、4年生、5、6年生ともA4版となります。

観点アについて説明します。

3、4年の教科書、23ページをお開けください。

単元の終わりに学習を振り返ろうのページが設けられており、理解度のチェックや、さらに調べてみたいこと、また疑問に思ったことを記述できる工夫がなされています。

観点イについて説明します。

同じく、3、4年教科書、42、43ページをお開けください。

各時間の終わりに資料が提示されており、学んだことを生かして、資料を活用する学習が展開する工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

5、6年の教科書、20ページをお開けください。

下の部分をご覧ください。つなげようでは、他教科とのつながりについて明記されており、関連した教科が分かりやすい工夫がなされています。

観点エについて説明します。

3、4年の教科書、12、13ページをお開けください。

けんこうによい1日の生活では、12ページに元気のないたくみさん、13ページに元気いっぱいのあやかさんの1日が円グラフのように示されており、対比しながら1日の流れを分かりやすく伝える工夫がなされています。

観点オについて説明します。

5、6年の教科書、27ページをお開けください。

書き込み欄の大きさが適当で、書きやすい工夫がなされています。

以上で、東京書籍の報告を終わります。

次に、大日本図書について報告します。

報告書の5ページをお開けください。

サイズは3、4年生、5、6年生ともAB版となります。

観点アについて説明します。

5、6年の教科書、14ページをお開けください。

不安や悩みを軽くする方法について分かりやすく記されており、日常生活で生かす工夫がなされています。

観点イについて説明します。

5、6年の教科書、27ページと、29ページをお開けください。

27ページのやってみよう、29ページの話し合ってみようは、資料から読み取ったことをもとに考えたり、話し合ったりする構成となっており、思考力を深める工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

5、6年の教科書、23ページをお開けください。

下の部分をご覧ください。

この学習の活用して深めようは、家庭や地域につなげる学習活動が取り入れられており、家庭でも主体的に考える工夫がなされています。

観点エについて説明します。

3、4年の教科書、25ページと、最終ページをお開けください。

大きくなってきた私では、シールを貼って表すことができるページが設けられており、自分の身長伸びが一目で分かる工夫がなされています。

観点オについて説明します。

3、4年の教科書、26、27ページをお開けください。

多くが見開き2ページで、1時間の学習が完結するようになっており、分かりやすい工夫がなされています。

以上で、大日本図書の報告を終わります。

次に、文教社について報告します。

報告書の6ページをご覧ください。

サイズは、3、4年生、5、6年生ともA4版となります。

観点アについて説明します。

5、6年の教科書、25、27ページをお開けください。

25ページの日常的に起こりそうなけがや、27ページの熱中症の対処方法が分かりやすく示されており、学習したことを日常生活に生かす工夫がなされています。

観点イについて説明します。

同じく5、6年の教科書、37ページをお開けください。

新しい自分にレベルアップでは、学習した内容を振り返ることで、今後どうするべきかを考える工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

5、6年の教科書、28、29ページをお開けください。

けがの手当の発展資料、自助、共助、公助の連携の必要性では、災害を通して自分と実社会とのつながりを学ぶ構成になっており、非常時の対処法を日常的に意識する工夫がなされています。

観点エについて説明します。

3、4年の教科書、12ページをお開けください。

1日着た衣類の汚れは、比較対象した写真が分かりやすく掲載されており、理解しやすい工夫がなされています。

観点オについて説明します。

隣の13ページをご覧ください。

手の洗い方の写真をごらんください。このように写真やイラストは、大きくシンプルなものが多く、見やすい工夫がなされています。汚れている爪の写真は、横に自分の爪を並べてみたりすることもできるのではないかと思います。

以上で文教社の報告を終わります。

続いて、光文書院について報告します。

報告書の7ページをお開けください。

サイズは3、4年生、5、6年生ともA4版となります。

観点アについて説明します。

3、4年の教科書、37ページをお開けください。

中段にある、保健室の先生に聞くのコーナーでは、注意喚起などが示されており、保健の基礎的、基本的な事柄について理解を深める工夫がなされています。

観点イについて説明します。

3、4年の教科書、26、27ページをお開けください。

変化していく体では、多くの資料が提示されており、それをもとに話し合うことで、発達には個人差があるということに気づく工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

5、6年の教科書、14、15ページをお開けください。

さらに広げよう、深めようが設けられており、読んだり、調べたりすることで、発展的な内容を学習できる工夫がなされています。

観点エについて説明します。

5、6年の教科書、10、11ページをお開けください。

心の発達の図は、スペースを十分に使って、イラストと文章で分かりやすくまとめられており、理解しやすい工夫がなされています。

観点オについて説明します。

5、6年の教科書、21ページをお開けください。

各単元の扉のページには、学習内容等が漫画で紹介されており、興味を持つ工夫がなされています。以上で光文書院の報告を終わります。

続いて、学研教育みらいについて、報告します。

報告書の9ページをお開けください。

サイズは3、4年生、5、6年生ともA4版となります。

観点アについて説明します。

5、6年の教科書、14ページと、16、17ページをお開けください。

呼吸法や体ほぐしの方法、悩みの対処が具体的に説明されており、心の健康について学びやすい工夫がなされています。

観点イについて説明します。

5、6年の教科書、47ページをお開けください。

下の部分をご覧ください。

書く時間の最後に行く、まとめる・深めるでは、考えたことを文章にすることで、考えを深める工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

5、6年の教科書、28ページをお開けください。

下の部分をご覧ください。

自然災害についてのページでは、緊急地震速報や、大津波警報、特別警報などが紹介されており、安全を守るための必要事項を主体的に学習できる工夫がなされています。

観点エについて説明します。

3、4年の教科書、16、17ページをお開けください。

もっと知りたい・調べたいでは、様々な事例の資料がくわしく掲載されており、健康・安全について学べる工夫がなされています。

観点オについて説明します。

3、4年の教科書、2、3、4ページをお開けください。

目次、学習の進め方、図の説明が一つ一つ丁寧に示されており、分かりやすく伝える工夫がなされています。

以上で、学研教育みらいの報告を終わります。

以上で保健の報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、御意見、御質問ございませんか。

(梶木委員)

よろしいですか。保健の授業なんですけど、すごく限られた時数ということなんですけれども、主に担任の先生がされるんですか。あるいは保健室の養護教諭の先生、あるいはスクールカウンセラーさんとか、様々な学校の中におられる方で対応できるかなと思うんですが、どんな感じなんですか。

(美藤担当係長)

主には担任の先生がすることになると思いますが、先ほどおっしゃってくださったように、養護教諭の先生がT Tの形で入ったりとかするような形もあると思います。主体は担任だと思います。

(梶木委員)

スクールカウンセラーさんというのは、ここからまないと。

(美藤担当係長)

決してそういうことはないと思います。スクールカウンセラーさん、週に1回とか、日にちがちょっと少ないことがあるんですが、私が前いた学校なんかでは、5年の保健の心の健康のところでは入っていただいたりしましたし、ちょっと打ち合わせは難しいところもあるんですが、スクールカウンセラーさんから言っていただいたおかげで、子供たちに

すっとんと落ちるようなこともあると思いますので、連携を取り合いながらやることは、他の学校もされていると思います。

(梶木委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

他にございませんか。

(山本委員)

各教科書会社も、3、4年生で10ページ強、5、6年生で30ページ弱くらいのページ数の違いが。これはやっぱり内容とか、それについては。

(美藤担当係長)

見ていただいたら分かるように、ページ数にちょっと違いはあると思いますが、どの教科書会社さんも、その中ですごく分かりやすく授業が進めるようになっているかなと調査員の方では話がありました。

少ないからとか、多いからとかではなくて、多ければそれだけ資料があるので、活用もしやすいでしょうし、少ないページの中ですっきりと授業に沿って伝えられる工夫はどの教科書会社さんもされているということで話し合いを持ちました。

(山本委員)

合わせてですけど、3、4年生、5、6年生も含めて、やっぱり4時間とか8時間という授業時数なんですね。全ての教科書が書き込み式になっている。その方が効率的かなと思うんですけど、そういう理解でよろしいか。

(美藤担当係長)

その通りだと思います。4時間、8時間ですので、ノートの別冊をつくりますと、なかなか持って来たりする時であったりとか難しいと思いますし、書き込むことによって、これだけが評価になるとは思いませんが、先生が評価する時にもこの本を見ながら、どの教科書会社さんも評価ができると思いますので、効率的にすごくいいと調査員の方では話し合いをもちました。

(長田教育長)

他にございませんか。

特にないようでしたら、投票に入らせていただきたいと思います。

東京書籍さん、5票。光文書院さん、1票。

過半数を超えておりますので、東京書籍さんの教科書を採択いたします。

では、教科書の入れかえをいたしますので、しばらくお待ちください。

よろしいでしょうか。それでは説明をお願いします。

(福田指導主事)

失礼します。外国語科の記載内容について報告いたします。

まず、概要についてお申し上げます。

外国語科の授業は、5、6年生で年間70時間の授業時数があります。

調査研究の対象となる教科用図書は、東京書籍、開隆堂、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書、啓林館の7社、7種、14件です。

まず、東京書籍から報告します。

報告書の3ページをお開けください。

サイズは5、6年生ともにA4版で、AB版の別冊がついております。

観点アについて説明します。

5年、18ページをお開けください。

一番下の右側にありますWord Linkから、別冊Picture Dictionaryへつながる構成になっており、単語調べが円滑に進む工夫がなされています。

観点イについて説明します。

6年、59ページをお開けください。

他教科との学びに関連して、思考力、判断力、表現力を身につける工夫がなされています。観点ウについて説明します。5年83ページをお開けください。Check Your Stepsでは、複数の単元で学んだ英語を振り返りながら、テーマに沿ったスピーチや意見交流を行うことで、対話的で深い学びができる工夫がなされています。

観点エについて説明します。

6年、36ページと37ページをお開けください。

Your turn「会話に慣れる」では、Let's Listen、Let's Try、Let's Read and Writeがセットで繰り返されており、聞いたことを発話したり、ワードリンクから表現を選んだりしながら、英語表現に慣れる工夫がなされています。

観点オについて説明します。

別冊32ページと33ページをお開けください。

別冊ピクチャーディクショナリーには、教科書で使う単語やセンテンスが整理されており、音声を活用しながら英語に慣れ親しみ、学びを振り返ることができる工夫がなされています。

以上で、東京書籍の報告を終わります。

次に、開隆堂について説明します。

報告書の5ページをお開けください。

サイズは5、6年生ともAB版となります。

観点アについて説明します。

5年、81ページをお開けください。

5年生で初めて「読み、書き」を学習することから、文字を書く活動が、教科書後半に独立して設けられており、体系的に書くことに慣れ親しむ工夫がなされています。

観点イについて説明します。

5年、31ページをお開けください。

単元末のLet's Tryでは、学んだ知識、技能を活用することで、自己表現する工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

6年、扉をお開けください。

巻頭のキャンドゥマップでは、各単元でできるようになることを確認し、振り返ることで主体的に学習する工夫がなされています。

観点エについて説明します。

5年、47ページをお開けください。

英語での道案内を学んだ後、英語とプログラミングを融合した活動が設定されており、プログラミング的思考を英語で育む工夫がなされています。

観点オについて説明します。

6年、2ページと3ページの目次をお開けください。

目次の右端に文字になれようの表記があり、文字についての学習内容がよく分かり、単元全体の見通しが持ちやすい工夫がなされています。

以上で開隆堂の報告を終わります。

次に、学校図書について報告します。

報告書の7ページをお開けください。

サイズは5、6年生ともにA4版となります。

観点アについて説明します。

5年、26ページをお開けください。

Let's Listen、Let's Chantでは、聞いた回数をチェックするコーナーが設けられており、自分の学びを目に見える工夫がなされています。

観点イについて説明します。

5年、29ページをお開けください。

Small Talkのコーナーでは友達と英語でコミュニケーションを図ろうとするための話題が示されており、既習表現を繰り返し活用し、定着を図る工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

5年、51ページをお開けください。

セクションBのアクティビティ5では、他教科や異文化に関する内容が扱われており、実生活や興味、関心に合った活動がなされています。

観点エについて説明します。

6年、62ページをお開けください。

単元の最後にU s e & C h e c kが設けられており、学習した内容を確認し、振り返りながら次の学びへつなげる工夫がなされています。

観点オについて説明します。

6年96ページと、97ページをお開けください。

見開き2ページが1時間分の学習となっており、各活動には活動順に番号が示されており、学習の流れが理解しやすい工夫がなされています。

以上で学校図書の内容を終わります。

続いて、三省堂について報告します。

報告書の9ページをお開けください。

サイズは5、6年生ともにA B版となります。

観点アについて説明します。

6年、60ページと61ページをお開けください。

単元末のW r i t e & T a l k、W r i t e & S p e a k、L i s t e n & W r i t eでは、書く活動が設定されており、学習した表現を使って、自己表現ができる工夫がなされています。

観点イについて説明します。

5年、60ページ、61ページと、巻末の表をお開けください。

世界の時差では、時差の表が示されており、地球上の東西の位置で、時刻が違うことを理解しやすい工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

5年、75ページをお開けください。

学びの起点として、なりたい自分をイメージするためのH O Pが設定されており、自らの学びの見通しを立てる工夫がなされています。

観点エについて説明します。

6年、74ページと75ページをお開けください。

学期に一つのプロジェクトを完成させる構成になっており、目的を持って取り組む工夫がなされています。

観点オについて説明します。

6年生の4ページと5ページをお開けください。

5、6年ともに目次はH O P、S T E P、J U M Pで色分けされており、学習の見通しを持ちやすい工夫がなされています。

以上で三省堂の報告を終わります。

続いて、教育出版について報告します。

報告書、11ページをお開けください。

サイズは5、6年ともにA B版となります。

観点アについて説明します。

5年、巻末のアルファベット表をお開けください。

巻末に見開きで出せるアルファベット表や、英語を書く時のルールがページが設けられており、必要に応じて見ながら書くことで、アルファベットの定着を図る工夫がなされています。

観点イについて説明します。

6年、巻末をお開けください。

巻末に5年生4単元、6年生全単元で、自己表現のためのワークシートが設けられており、既習事項の中から、場面に合う言葉を選択し、表現力を育成するための工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

5年、67ページをお開けください。

L e t ' s T h i n kでは、コミュニケーションへの気づきを促し、関わり合いが高まる活動が設定されており、相手に配慮しながら対話することができる工夫がなされています。

観点エについて説明します。

5年生、72ページと73ページをお開けください。

名所・名物マップでは、ローマ字で表記された日本地図が掲載されており、表現意欲を高め、楽しいコミュニケーション活動につながる工夫がなされています。

観点オについて説明します。

6年扉をお開けください。

扉の世界の子供が持っている紙に書かれた文字は手書きであり、興味を持って学習に取り組む工夫がなされています。

以上で教育出版の報告を終わります。

続いて、光村図書について報告します。

報告書、13ページをお開けください。

サイズは5、6年ともにA B版となります。

観点アについて説明します。

5年65ページ、67ページをお開けください。

どの単元もステップ1とステップ2の最後に一文だけを書く構成となっており、英語を書くことに少しずつ慣れる工夫がなされています。

観点イについて説明します。

5年、77ページをお開けください。

L e t ' s T r y では、直前の L e t ' s P l a y で学習した語句や、表現を使い、お互いの考えや気持ちを伝え合う活動が設定されており、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

6年、89ページをお開けください。

英語の歌、英語の物語というコーナーでは、なじみのある歌や物語が英語で紹介され、「しあわせ運べるように」も取り上げられており、意欲的に学習する工夫がなされています。

観点エについて説明します。

6年、101ページをお開けください。

各単元終末の J U M P の Y o u c a n d o i t ! では、単元で学んだことを自分の表現として発表する活動が示されており、自信を持って発信するための工夫がなされています。

観点オについて説明します。

6年巻末をお開けください。

巻末に水性ペンで何度も書けるペンマンシップ・シートや、すごろくが掲載されており、振り返りながら学習する工夫がなされています。

以上で、光村図書の報告を終わります。

最後に、啓林館について報告します。

報告書15ページをお開けください。

サイズは、5、6年ともにA B 版となります。

観点アについて説明します。

5年、91ページをお開けください。

チャンツの歌詞表記では、アクセントの位置に赤丸がつき、語尾の上げ下げについては矢印が示されており、発音しやすい工夫がなされています。

観点イについて説明します。

6年、95ページをお開けください。

チャレンジでは、英語で書かれたポスターや、グラフ等を読み取って、質問に答える活動が設定されており、英文を読み取りながら考えを深める工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

5年、31ページをお開けください。

各単元の最後に、D i d y o u k n o w ? というコーナーが設定されており、異なる文化や言語について興味関心を持ち、新たな知識を身につける工夫がなされています。

観点エについて説明します。

6年、69ページをお開けください。

各単元の終わりのアクティビティでは、単元のまとめとなる発表と、書く活動が設定されており、既習事項を活用しながら友達とコミュニケーションをとる工夫がなされています。

観点オについて説明します。

6年、74ページから77ページをお開けください。

L i s t e n a n d G u e s s / L i s t e n a n d P l a y / L i s t e n a n d D o / S a y a n d W r i t e など、分かりやすく活動が示されており、それぞれの活動で4技能のうちの何をすればよいのかが理解しやすい工夫がなされています。

以上で、啓林館の調査報告及び外国語科調査研究の報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、御意見、御質問等があればお願いします。

(梶木委員)

済みません、質問なんですけど、冒頭で年間70時間って、5、6年生合わせて70時間とおっしゃったんですか。

(福田指導主事)

いえ、5年生70時間、6年生70時間です。

(梶木委員)

あとALTの先生も各校入られるんですか、この時間。どのように授業が進められていくのかというのが、ちょっと初めての教科なので、神戸の学校としてはどういうイメージで進めていかれるのか教えていただければ。

(福田指導主事)

現在、神戸市では移行期としまして、3、4年生で15時間、5、6年生で50時間の授業を行っております。そのうち、3、4年生では15時間のうちの7時間を。5、6年生では50時間のうち17時間をALTの先生と一緒に授業をしております。この数といいますのは、約授業全体の3分の1、3回に1回はALTの先生と一緒に授業するという形になっております。

今後、5、6年生70時間になるに当たりまして、3分の1を目指すということで、今後予算要求を通してまいりたいというところでございます。

(梶木委員)

ありがとうございます。

あと、もう一ついいですか。各教科書によってかなり日本語が書かれている教科書と、英語の書かれている量の方が多い教科書で、随分差があるように思うんですけども、何か特徴的な同じような単元のところで、書かれている内容が随分違うところを教えてくださいましたらと思います。

(福田指導主事)

そうしましたら、どの教科書でも最初の、単元の一番最初のページをご覧ください。

例えば東京書籍ですと、ニューホライズン5年生の38ページをお開けください。

活動の内容等は日本語でなっているんですけども、言語材料、英語は英語で喋れないといけないような部分、例えば上のところですか、左の下ですか、そういうところは英語になっております。

同じように、5年生、開隆堂、サンシャインですね。例えば26ページ、こちらの教科書も指示に当たるようなところは日本語になっていて、下のような単語ですね。英語で表現するところは英語になっています。

次に、学校図書ですと、これは日本語がかなり少なく、英語も少ないんですけども、5年生のジュニアトータルイングリッシュの1の56ページでございます。

Where is the beach ball?とあるんですけども、この言語材料に関しては英語で書いてございますが、右上のところのちょっとした説明が日本語になっています。

主に、最初のページは絵を見て気づいたこととか、知っている言葉を言ったり、この絵を使って簡単な会話をしたりというふうに、音声での言語を扱うことが中学校では多いので、文字が少なくなっています。

三省堂ですね。クラウンの5年生、40ページをご覧ください。

絵を見て英語を聴こうですが、友達や家族、知っている人のことを説明しようというところは日本語なんですけれども、それ以外のところは英語で、絵の中にたくさんの英語が散りばめられています。

教育出版です。5年生、46ページをご覧ください。

同じように日本語での指示や説明があり、そして英語の単語というふうになっています。

光村図書、ヒアウィーゴーですけども、5年生の62ページ、63ページをご覧ください。

日本語でのちょっとした説明と、英語の単語、文章等が書かれています。

啓林館、ブルースカイ、5年生、52ページ、53ページご覧ください。

こちらの教科書は最初の題名は英語で書いてあるんですけども、日本語で説明をして、中身の絵については、音声でやりとりをするという形になっています。

どの教科書も最初のページでは音声中心になっていまして、聞いたり、ペアで話をしたり、それからだんだん書くことにつなげるというような構成になっております。

子供たちが英語ばかりでは分からなくなってしまう部分があるので、日本語の方での趣

旨もかなりたくさん出ている場所もございます。

(長田教育長)

他にございませんか。

(今井委員)

すみません、デジタル教材ですと、映像とかがついてると思うんですが、ここでは見れないんですが、それぞれ特徴的なこととか、違いとかあったら教えていただけますか。

(福田指導主事)

小学校の英語教育では、音声が大変重要な役割を示しておりまして、先生方誰もが英語が得意ではないということも考えられますので、デジタル教材に関しましては、各社大変充実しております。

ただ、現在準備中というところも結構ございまして、全てを公平にチェックしたというわけではないんですけれども、今現在アップされているもので見ましたら、全社デジタル教材を準備していたり、または二次元コード、QRコードからいろいろな画像が子供たち自身が読み込めるような構成になっています。

例えば東京書籍ですと、東京書籍、特に数多くの音声を用意しているんですけれども、映像が例えば実写版であったりとか、あと光村図書ですとアニメーションで吹き出しが出てくるとかというような工夫がなされているものもあります。

その他の会社も音声の準備が大変充実しております。特にアルファベットの指導に関しては、いろいろなサイトが用意されています。

また、他の教科でもあったんですけれども、学びリンクにつながりまして、小学生のなりたい職業ランキングですとか、そういった実社会の情報と合わせて英語を表現するというような、発展的な学習になるような工夫もされています。

(長田教育長)

他、よろしいでしょうか。

特にないようでしたら、投票に入らせていただきます。

東京書籍さん、3票。光村図書さん、3票。よって、3票ずつ同数となりましたので、教育長、私が決するということになりまして、光村図書さんの教科書を選択いたします。

準備はよろしいでしょうか。

それでは、説明をお願いします。

(白倉指導主事)

まず、概要についてお話しします。

道徳科の授業は、1年生は年間34時間、2から6年生は35時間、授業時数があります。

調査研究の対象となる教科用図書は、東京書籍、学校図書、教育出版、光村図書、日本
文教出版、光文書院、学研教育みらい、廣済堂あかつきの、8社、8種、66件です。

まず、東京書籍から報告します。

3ページからお開けください。

サイズは全学年A B版となります。

観点アについて説明いたします。

3年生、40ページをお開けください。

「みさきさんのえがお」では、公正公平の項目で、誰に対しても分け隔てなく接することの大切について考え、話し合うことができる工夫がなされています。

観点イについて説明します。

6年生、76ページをお開けください。

「修学旅行の夜」では、学年行事と関連をもたせ、実際に起こり得る状況を設定することで、決まりの大切や、必要性について、自分事として考えながら考える工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

5年生、38ページをお開けください。

「転校生がやってきた」では、転校生をきっかけに、クラスの問題や集団と個のつながりについて、自分ならどう関わっていくかを考える工夫がなされています。

観点エについて説明します。

5年生、4ページをお開けください。

巻頭の道徳の学習を進めるためには、学習の道筋が示されており、みんなで話し合い、考えを深め、自分を見つめる工夫がなされています。

観点オについて説明します。

5年生、173、174ページをお開けください。

巻末の折込み紙面に多数の写真や資料が掲載されており、イメージを膨らませながら学習に取り組む工夫がなされています。

以上で、東京書籍の報告を終わります。

次に、学校図書について報告します。

4ページをお開けください。

サイズは全学年A B版となり、別冊があります。

観点アについて説明します。

6年生、71ページをお開けください。

「高とびの選手はだれがなるのか」では、それぞれの個性を認め合い、互いのよさを輝かせ合う様子が示されており、相互理解、寛容の大切さを考えることができる工夫がなされています。

観点イについて説明します。

6年、別冊9ページをお開けください。

「かんがえよう」「やってみよう」では、話の場面を体験したり、演じたりすることで、様々な視点から問題を捉え、考え方を育む工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

6年、84ページをお開けください。

「お母様、幸せ？」では、主人公の生き方や考え方に触れることで、差別や偏見のない社会実現を目指して、互いに思いやり、認め合って生きることの大切さを考える工夫がなされています。

観点エについて説明します。

6年、別冊6ページをお開けください。

教材と内容項目がまとめて掲載されており、複数の教材にある多様な道徳的価値を関連づけながら、学びを深める工夫がなされています。

観点オについて説明します。

3年生、44、45ページをお開けください。

「森のいのち」では、自然の荘厳さが分かる写真が2ページにわたって掲載されており、さらにページをめくると、命が芽生え、つながっていることを捉える工夫がなされています。

以上で、学校図書の内容を終わります。

次に、教育出版について報告します。

5ページをお開けください。

サイズは全学年AB版となります。

観点アについて説明します。

6年生、20ページをお開けください。

「絵地図の思い出」では、男女の違いを超えて協力していく大切さに気づくことで、道徳的実践意欲を持つ工夫がなされています。

観点イについて説明します。

5年生、91ページをお開けください。

「だれかをききつける機械ではない」は、携帯電話は身近で手軽だからこそ、ネット上の問題を捉え、どのように使っていくかを自分で考える大切さに気づく工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

3年生、74ページをお開けください。

「悪いのはわたしじゃない」では、何か問題が起こった時に、他人事にせず、向き合うことの大切さが示されており、自分のこととして考えを深める工夫がなされています。

観点エについて説明します。

6年生、9ページをお開けください。

教材の最後に示された「考えよう」の星印が主要発問となり、深く考える場面が分かる工夫がなされています。

観点オについて説明します。

6年生、144ページをお開けください。

履修すべき内容項目に加えて、全学年に補充教材が掲載されており、郷土教材や自作教材と差しかえるなど、弾力的な活用ができる工夫がなされています。

以上で、教育出版の報告を終わります。

続いて、光村図書について報告します。

7ページをお開けください。

サイズは全学年B5版となります。

観点アについて説明します。

6年生、156ページをお開けください。

よびかけ・教材、コラムのユニットが組み立てられており、内容項目から考えることを現代的な課題として見つめることができる工夫がなされています。

観点イについて説明します。

6年生、115ページをお開けください。

教材の最後に示された「考えよう・話し合おう」「つなげよう」では、多面的な考えを引き出すことで、既習の道徳的価値につながる工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

3年生、24ページをお開けください。

「たった一言」では、ずっと一人でいる友達のことを気にかける主人公の気持ちを考えることで、いじめを未然に防いだり、よいと思うことを進んで行ったりできる工夫がなされています。

観点エについて説明します。

1年生、96ページをお開けください。

「きゅうしょくとうばん」では、まねをしたくなる姿や、頑張っってやってみたい姿などが示されており、生活に結びつく工夫がなされています。

観点オについて説明します。

5年生、63ページから70ページをお開けください。

「宇宙から見えたもの」では、宇宙から見た様々な風景と、人や植物の細胞が鮮明に映し出されており、宇宙と自分とのつながりを感じとる工夫がなされています。

以上で光村図書の報告を終わります。

続いて、日本文教出版について報告します。

9ページをお開けください。

サイズはA5版となり、別冊となります。

観点アについて説明します。

6年生、130ページから135ページをお開けください。

「自分を守る力って？」では、小学生が巻き込まれやすいトラブルの場面を想定し、自分ならどうすればよいかと話し合うことで、危険回避について考える工夫がなされています。

観点イについて説明します。

5年生152ページをお開けください。

「学習の手引き」が示されており、役割演技をしたり、吹き出しで気持ちを書いたりすることで、問題をどのように解決していくかを考える工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

6年生、146ページをお開けください。

「わたしのせいじゃない」では、傍観者の言葉を客観的に見つめることで、いじめに第三者なしという立場で、一人一人が考えを深める工夫がなされています。

観点エについて説明します。

6年生、154ページをお開けください。

教材文の初めに、主題、簡単なあらすじ、登場人物、導入となる発問を示すことで、内容を理解しやすく工夫がなされています。

観点オについて説明します。

5年生、46、47ページをお開けください。

「ひとふみ十年」は、2ページにわたり写真が大きく掲載されており、自然の雄大さを感じ取る工夫がなされています。

以上で日本文教出版の報告を終わります。

続いて、光文書院について報告します。

11ページをお開けください。

サイズは全学年A4版で、縦がやや短くなります。

観点アについて説明します。

4年生、48ページをお開けください。

「自分たちにできるエコ活動」では、「わければ資源・まぜればごみ」という視点が示されており、決まりの意味や守ることの利点に気づく工夫がなされています。

観点イについて説明します。

3年生、98ページをお開けください。

「思い切って言ったらどうなるのか？」では、正しいことでも言える時と言えない時があるという葛藤場面から、自分ならどうするだろうと考えを深める工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

5年生、36ページと、40ページをお開けください。

「まかせてみようよ」と、「みんなの劇」では、よりよい学級や学校をつくるために、

何が大切なのか、何ができるのかを考えることで、自分のこととして向き合う工夫がなされています。

観点エについて御説明します。

6年生、144ページをお開けください。

「命と向き合う人生」では、動物も人間も命の価値は同等であるという考えにふれることで、自分の生き方を見つめる工夫がなされています。

観点オについて説明します。

6年生、巻末をお開けください。

内容項目別教材一覧が色分けで記載されており、また、学年の重点主題教材もマークで示され、意識して学習する工夫がなされています。

以上で光文書院の報告を終わります。

続いて、学研教育みらいについて報告します。

サイズは全学年A4版となります。

観点アについて説明します。

5年生、124から131ページをお開けください。

葉っぱのマークを手がかりに、全学年で「生命尊重」を重点テーマとして学習を重ねることで、人との関わりや、命の尊さに気づく工夫がなされています。

観点イについて説明します。

4年生、55ページと、139ページをお開けください。

「やってみよう・ひろげよう」では、学びの手立てが示されており、自分の思いを自由に表現できる工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

4年生、60ページをお開けください。

「友だちが泣いている」では、傍観者の様々な見方や考え方にふれることで、実感を伴いながら考える工夫がなされています。

観点エについて説明します。

1年生、104ページをお開けください。

「ともくんの字」では、国語科との関連を図ることを視野に、力を精一杯出し切ることの大切さに気づき、自分もやってみようという気持ちが持てる工夫がなされています。

観点オについて説明します。

1年生、36ページをお開けください。

「みんなあかちゃんだったよ」は、等身大の赤ちゃんの写真があり、命そのものを感じられる工夫がなされています。

以上で学研教育みらいの報告を終わります。

最後に、廣済堂あかつきについて御報告します。

サイズは全学年A4版となり、別冊があります。

観点アについて説明します。

3年生、26ページをお開けください。

「たんじょう日おめでとう」では、母と息子の温かな会話を通して、命の有限さや尊さに気づく工夫がなされています。

観点イについて説明します。

5年生、9ページをお開けください。

教材の最後の「考えよう・話し合う」は、学習の道筋が示されており、発問が明確で、道徳的価値に迫るよう工夫がなされています。

観点ウについて説明します。

5年生71ページをお開けください。

「ぼくの名前をよんで」では、手話での語りが2ページにわたり示され、教材の最後に学習を広げるこの一言があることで、自分の思い、親の思い、家族の幸せについて考えを深める工夫がなされています。

観点エについて説明します。

1年生、28ページをお開けください。

「まりちゃんとあさがお」では、分かりやすい文と、共感しやすい場面を手がかりに、自分の思いを深めるよう工夫がなされています。

観点オについて説明します。

2年生、52ページをお開けください。

挿絵が子供たちの思考を制限することがなく、自分たちの見方で読み取れるよう、工夫がなされています。

以上で廣済堂あかつきの報告並びに道徳科調査研究の報告を終わります。

(長田教育長)

御意見、御質問、ございませんか。

(山本委員)

今、恐らく道徳の授業で別冊ノートを使っておられると思うんですが、その良い点と課題というか、それは今、現場、学校ではどうなっていますか。

(白倉指導主事)

今、別冊のノートを使っておりまして、授業をする時に、授業が終わった後にその別冊ノート、道徳ノートということで、自分の学習の記録、思いをすぐ書くことができるという利点があります。

もちろん、デジタル集の中にワークシートが各社ありますので、道徳ノートがなくても、別冊ノートがなくても、しっかりその学びということを記録することができます。

ただ、用意する時にちょっとひと手間いるんですけども、今年の別冊ノートは、ちょっと今までと傾向が違いまして、そのノートとしての扱いというよりも、発問がそこに集められている発問集としてだったり、さらに考えを深める補助の教材であったり、道徳ノートとなるとさらにその発問がまた書かれていて、深まりをちょっと持たせるようなものであったりするので、学びの記録というようなものでは少しないのかなと、傾向としてはないのかなというのがあるので、別冊があるとかないということがいいとか悪いとかという違いはなくて、それぞれ学校でワークシートとかノートとかで工夫して、十分学習の記録っていうのはできるかなと感じております。

(梶木委員)

すみません、今の神戸の小学生にとって、一番必要な道徳の観点というのは、どういう観点になりますでしょうか。

(白倉指導主事)

今、いじめに対することというのが、とても重きをおかれているんですけども、やはり善悪の判断、正しいことをやっぱりきちんと自分の中でしっかり考えて判断していく気持ちとか、生命を尊重する気持ち、規範意識のあたりは、すごく大切に育てていきたいなというところです。

どの教科書会社も、本当に生命尊重の意識、その善悪の判断というところは本当に丁寧につくっておられるなというところなんですけれども、教材の中で、いじめとしてユニット、生命尊重としてユニットを組まれている、そういう手立てももちろん大切なんですけれども、一つの教材の中に、やっぱりいろんな道徳的価値が入っているので、その道徳的価値にどういうふうに光を当てて、子供たちに学ばせていくかというのは、やっぱり先生のお一人お一人がしっかり考えて、子供に向き合っていくところだと思うので、教科書の中にいろいろ書かれている、指導書やデータ集なんかで、きっちり指導に当たってということが書かれておりますので、子供たちと命の尊さとか、善悪の判断であるとか、よりよく生きていくということに対して、しっかり寛容できるような、そういうことを子供たちと一緒にしていくことがとても大事だと考えています。

(長田教育長)

他にございませんか。

(今井委員)

教科書展示会での意見で小学校道徳に対しての意見があったと思うんですが、その意見を見られて何か、調査員さんの方で、気づいた点とかありましたら教えていただけますか。

(白倉指導主事)

やっぱりお一人お一人本当に思いを持ってしっかり見ていただいていたことにとってもありがたいなという思いがありました。やっぱりとても慎重というか、思想的なところになるので、見方によって本当に様々な意見が、本当にこの教科書会社、本当に子供たちに合ってるという方もいれば、いえいえ、これだけはこの、いろいろ強い思いを持たれているので、やっぱりそこは本当に平等な視点で、本当に神戸の子供たちにとってどうかというところで考えていく必要があるだろうなというふうに思いました。

やっぱり道徳って行為に結びつけていくものではないので、知っていることをさらに知るとか、分かっているつもりであることを、こういうことがあったのかと気づくという教科になってくるので、そのあたりではやっぱり一つの押しつけ道徳と言われる、そういうことがないように、教科書という一つの主体教材を使って、いろいろな見方ができる教科書というのがふさわしいだろうなと、そういう中でいろんな意見が出てきて、注目されたことは本当にありがたいことだなと思っていました。

(長田教育長)

他にございませんでしょうか。

(梶木委員)

多くの教科書には同一の教材が使われているところで、ちょっと考えてみようみたいなところの違いを明示していただけたらなと思いました。

(白倉指導主事)

じゃあ、全社扱っている「かぼちゃのつる」という、1年生のちょっとかわいい教材を比べてみたいと思います。

全社は大変なので、光文書院の34ページから37ページと、日本文教出版の68ページから71ページ。あと、廣済堂あかつきの、1年生、36ページから39ページです。

どの会社もかぼちゃのつるという教材は扱われています。

(長田教育長)

すみません、光村図書さんも扱っているんですか。

(白倉指導主事)

はい、扱っています。

(長田教育長)

光村図書さんお願いします。

(白倉指導主事)

はい、18ページでお願いします。

とてもかわいくて力がある教材です。主題はわがままをしないでということになるんですけども、最初の主題名というのを、ちょっと強く書くような教科書、わがままをしないとか、わがまましてるとだめですよというふうに、キャラクターがある程度の導入で、道徳的な内容とか、価値をうんと絞ってくるようなところもありますし、子供たちが捉えやすいように、紙芝居のような形で吹き出しを入れるようなものもありますし、ずっと読み進めながら自我関与していくような書きぶりをしているような会社もありますし、挿絵を比べた時に、表情なんかを、ちょっとある程度方向づけをして、だめなことと、いいところというところを導いていくような、そういう仕掛けというか、手立てがある会社も様々あります。

じゃあ、全部開けます。

学校図書さんは32ページ。全て1年生です。教育出版は16ページ。学研教育みらいは16ページ。東京書籍は53ページ。全部紹介しておりますでしょうか。8社。

やっぱりこのように見比べていると、道徳というのは教材というのが、読み物教材がとても大事なんですけれども、その見せ方とか、切り取り方とか、考えさせ方というのは、やっぱりそれぞれ違いがあるなというふうに感じます。

全くそこに、わがままをしないとかいうようなことを明記しないで、何もリードをしないで子供たち自身がそこにある問題を捉えていくような手立てを打っている会社もあれば、ある程度ここに大事な道徳的な価値というのは、これよということをしっかり捉えさせて、学習を進めるような会社というのもございます。

キャラクターなんかが発問をして、どういうだったり、考えさせたいところを主要発問というところをつぶやいているようなところもあるんですけども、教材の後ろに考えよう、深めようというところで、子供たちが対話しているような様子、こういうところを手がかりに、僕だったらどうやって考えるかなとか、逆にこの教材を捉えて、あなただったらどうするかなとか、自分に返すような発問をしてるようなところもありますし、ぼろぼろ涙を流して、その涙の意味っていうのはどうかなって、本当にその教材に最後までたっぷり寄り添わせるようなものもありますし、そのあたりで子供たちが自分事として考えていけるような発問というのがいいかなというふうに考えております。

(長田教育長)

今の件はよろしいでしょうか。

他にございますか。

他に特にないようでしたら、投票に入らせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それではこれから投票にまいります。

光村図書さん、5票、廣濟堂あかつきさん、1票。したがって、過半数を超えておりますので、光村図書さんの教科書を採択することといたします。

以上で、教第29号議案、令和2年度使用神戸市立小学校及び義務教育学校前期課程教科書の採択の件についての審議を終わらせていただきます。

少し時間がございますので、協議事項1点追加したいと思います。休憩を挟んで10分ほど後に再開をしたいと思います。

協議事項16といたしまして、運動会・体育大会の組体操について追加したいと思います。よろしいでしょうか。

では、10分ほど休憩をしまして、5時10分に再開をさせていただきます。